

際ハ暫ク此ノ事態ヲ見送ルト共ニ機会アル毎ニ我方ノ強硬ナル意向ヲ先方ニ感知セシメ以テ嚴重監視ノ態度ヲ執ルコトトシタルニ付右ニ御含置請フ

北平、南京、漢口へ転電セリ

833 昭和4年6月5日 在九江河野(清)領事代理より
田中外務大臣宛

南潯鉄道の東亜興業会社に対する補助金交付は
今後容易に実行されざるものと推察について

機密往信第一五四号 (6月14日接受)

昭和四年六月五日

在九江

領事代理 河野 清〔印〕

外務大臣男爵 田中 義一殿

南潯鉄路問題ニ関シ報告ノ件

本件鉄道部ノ南潯鉄路接管ト同時ニ東亜側債款償還問題ニ関シテハ屢次報告申進ノ通りナルカ今回南潯鉄路高比良会計顧問ヨリ聞ク処ニ依レハ五月二十三日鉄道部ノ收入金ヨリ貳万元五月二十九日江西省政府ヨリノ補助金四万元六月

四日鉄道部收入金ヨリ壹万元合計七万元ヲ東亜側へ支払ヒタリトノ事ナルカ今後省政府ノ補助金交付ニ関シテハ財政窮乏ノ折柄端午節ニ際シ各所経費ノ支弁ニ窮シタル結果当省地租ヲ抵当トシテ中国、中央、市立ノ三銀行ヨリ六拾萬元三ヶ月ノ短期借款ヲ為セリトノ事ナレハ此ノ後省政府ノ補助金交付ハ容易ニ実行セラレサルモノト推察セラル右何等御参考迄報告ス

本信写送附先

在支公使 上海、漢口各総領事、南京領事

昭和期Ⅰ第一部第三卷 日付索引

昭和四年（一九二九）一月

事項 番号	文書 番号	電信 番号	件名	頁
六	488	一	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	639
		別電一	一月二日発在上海矢田総領事より田中外務大臣宛第二号	641
		二	一月二日発在上海矢田総領事より田中外務大臣宛第三号	643
			債務整理問題往復公文案	643
六	489	五	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	643
六	490	一	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛（電報）	644
六	491	七	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛（電報）	645
六	492	三	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛（電報）	647
七	773	二	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛（電報）	1016
一	1	七	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛（電報）	1
二	143	六	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛（電報）	140
			付属地地方行政を満鉄から関東庁に移管させ る同庁の活動に反対された旨要請	140
			陸軍が鉄道交渉問題に関与せぬよう指導あり たき旨稟請	1
			日本が張宗昌援助説は全く無根なる旨通報	1016
			新税率導入問題等に関し上村領事をもって一 時帰朝方訓令	647
			日中関税交渉に対する王外部長の態度約変新 税率の中国側導入をめぐり一時帰朝打合わせ 承認方請訓	643
			易職問題未解決のため安東海関に新税率実施 の訓令未着について	644
			王外交部長は現田中内閣に反対しかつ中国内 政からの配慮により関税交渉を中断する態度 について	645
			新税率導入問題等に関し上村領事をもって一 時帰朝方訓令	647
			日本が張宗昌援助説は全く無根なる旨通報	1016
			陸軍が鉄道交渉問題に関与せぬよう指導あり たき旨稟請	1
			付属地地方行政を満鉄から関東庁に移管させ る同庁の活動に反対された旨要請	140

南京において外交部長として芳澤公使と会見する旨の王正廷の言明について	楊宇霆、常蔭槐銃殺事件につき通報	張学良に対する我が方針不変更を通告し併せて吉会鉄道問題の解決懲慝方訓令	七種差等税の導入に関する東三省側の態度について	関税問題と済南事件解決交渉の分離を捉え後者の交渉解決担当方意見具申	場合の対策について	芳澤公使北京帰任の途次上海にて済南事件交渉にあたる旨王外交部長へ通告方訓令	飽迄拒絶の方針を取るべきや措置振りに関し請訓	希望並部長が済南事件解決交渉代表に矢田をしない旨表明について	東北三省代表が日本側要求の鉄道敷設の実行を決定したとの情報について	王外交部長が済南事件解決交渉再開の条件とし	王外交部長関税問題に関する公交交換の実行を承諾について	合と様の総務司就任事は国民政府官吏の場合に同様に舉行された事について	翟文選奉天省長が輸出二分五厘付加税を日本未承認ゆゑ交渉未結まで排日、対日貿易断絶を命令との情報調査方訓令	鉄道交渉問題に關して滿鉄を側面から援助方訓令
416	145	145	143	656	653	416	653	413	5	653	652	651	4	

への移管問題の可否について	140
中国側は濟南事件解決交渉再開を希望する旨の周外交部第二司長の談話について	407
陸軍省軍務局長に林総領事との連絡緊密化を申し入れた旨通達	1
王外交部長の発言により臨時弁法の施行は不可越延ては海關制度自体の危機に至るものと予想されることについて	647
中国日本公使館	648
商航海条約に関する覚書	408
濟南事件解決交渉の再開方訓令	538
中国商は首都反日会が日貨検査、商品封印に關し、猶予方容認しなければ一斉に罷市を決行する旨宣伝について	650
外交団會議において麦粉課税をめぐり各国と意見相連について	2
東三省官銀号総弁による奉天票整理案について	413
鐵道問題に關して張學良が強行策にでられないのは連合省議會議員の反対のためとの鄭謙談話について	410
濟南事件に關する王外交部長とのこれまでの交渉経緯確認について	411
崔士傑による王外交部長の濟南事件解決交渉案申入れについて	413
濟南事件解決交渉に關し崔士傑を通じ王外交部長との会見申入れについて	2
東亜勸業公司の間島地方における土地買収計画について	413

七	820	昭和4年1月16日	合一六	田中外務大臣より 在南京岡本領事 在九江岩谷領事館事務代理宛(電報)	南潯鉄道の国有接管は経営方針の変更である ため中国側に東亜興業会社の借款元利償還に ついて具体策提示要求方訓令	1065
七	720	昭和4年1月16日	五四	田中外務大臣宛(電報)	外交団会議において首席公使より国民政府が 孫文葬儀挙行に当り中国駐在外代表者の参 列を請う旨申越しの次第披露について	949
六	503	昭和4年1月16日	六一	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	新税率の実施に際し猶予期間設定を求める陳 情への対応につき請訓	659
二	149	昭和4年1月16日	機密公四五	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛	楊宇霆、常蔭槐処刑に関する張学良の蒋介石 宛電報訳文送付について	147
六	504	昭和4年1月17日	外四	木下関東長官より 田中外務大臣宛(電報)	新税率の導入を黙認し海関告示は差し控える 事につき照会	660
二	150	昭和4年1月18日	公五四	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛	楊宇霆、常蔭槐死刑に関する高等軍法会審判 決書記報について	147
五	393	昭和4年1月19日	四四	在漢口桑島総領事より 田中外務大臣宛(電報)	反日団体と国民政府並びに国民党との関係 についての首藤書記官報告	538
二	151	昭和4年1月19日	機密公五九	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛	楊宇霆、常蔭槐銃殺事件に関する袁金鎧の鎌 田への内話要領について	150
一	9	昭和4年1月19日	公信機密 二七	在局子街田中副領事より 田中外務大臣宛	中国側官憲による満鉄測量阻止方の訓令につ いて	7
五	394	昭和4年1月20日	一三	在天津田代総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	反日会執行会における日貨取扱等の決議事項 について	539
六	505	昭和4年1月20日	七一	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	債務整理についての公文交換終了との在南京 上村領事報告	660
四	324	昭和4年1月20日	七二	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	王外交部長が漢口事件解決交渉に憂慮の旨崔 士傑の談話について	422
四	325	昭和4年1月20日	七三	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	山東撤兵期日明示を条件として在留邦人保護 手段を講じる旨の王外交部長声明について	423
				別電 一月二十二日発在上海矢田総領事より田中外務大臣宛第七四号		423
				王外交部長声明		423

六	500	昭和4年1月14日	四〇	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	新税率の導入は心配ない旨王外交部長談話に ついて	657
六	501	昭和4年1月14日	外一	木下関東長官より 田中外務大臣宛(電報)	中国側単独で新税率の導入は不可なる旨を北 代大連税関長に説示について	657
一	7	昭和4年1月14日	公信機密 一四	在局子街田中副領事より 田中外務大臣宛	奉天総司令部から延吉道尹公署に対する満鉄 吉会鉄道測量阻止方訓令について	5
四	322	昭和4年1月15日	一九	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	芳澤公使による済南事件解決交渉の援助方訓 令	417
六	502	昭和4年1月15日	四六	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	新税率問題等の調印に際しては秘密保持困難 に付き文書公表方意見具申	658
二	148	昭和4年1月15日	五六	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	国民党勢力の東北地域への浸透程度に関する 張作相の談話について	146
七	819	昭和4年1月15日	四二	在上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	江西省政府が国民政府鉄道部に対し毎月三万 元補助金支出を認めたため南潯鉄道国有接管 実現の状況について	1063
			付記	昭和三年十二月十八日付東亜興業株式会社より有田亜細亜局長宛 外信第百七十八号 江西省南潯鉄道問題をめぐる最近の状況報告		1063
一	8	昭和4年1月16日	五五	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	鉄道問題の早期解決に関し張作相の樂觀的見 通しについて	6
四	323	昭和4年1月16日	二三	田中外務大臣より 在上海矢田総領事宛(電報)	芳澤公使南京行の予定について	417
			付記一	一月十三日省議決定 懸案交渉方針腹案		418
			二	一月十六日 芳澤公使携帯の済南事件交渉方針		420
			三	一月十六日付 芳澤公使・南参謀次長会談要旨		421
			四	一月二十一日 田代大佐来談要旨		421

	六〇六	昭和４年１月21日	六七	田中外務臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	661
一	五〇七	昭和４年１月21日	六九	田中外務臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	662
	一〇	昭和４年１月21日	重二機密 二一	田中外務大臣より 在奉天林総領事宛	7
七	821	昭和４年１月22日	五	田中外務大臣宛(電報) 田中外務大臣宛(電報)	1065
五	476	昭和４年１月22日	三四	田中外務大臣より 在米國出淵大使宛(電報)	621
				付記一 昭和三年九月十日発在中國芳澤公使より田中外務大臣宛電報第二二八二号 北平市党部の煽動と新聞業者の運動による順天時報排斥に關し同市長へ取締方要求について	622
				二 昭和三年九月二十四日發在中國芳澤公使より田中外務大臣宛電報 第一三三一號 順天時報排斥問題に關し對抗策上申について	622
				三 昭和三年九月二十六日發田中外務大臣より在中國芳澤公使宛電報 第四八八號 順天時報排斥に關し差向き各当局に對し至急有効な取締方嚴重要求する様訓令	624
				四 昭和三年九月二十九日發田中外務大臣より在南京岡本領事宛電報第八一號 順天時報排斥取締りに關する交渉に當り中央政府に同取締徹底方に重きを置く様訓令	625
一	一一	昭和４年１月22日	六八	在奉天林總領事より 田中外務大臣宛(電報)	10
				付記一 一月十八日發斎藤滿鐵理事より山本滿鉄社長宛電報 江藤に対する二週間内の鐵道問題解決着手を約する張學良談について	12
				二 一月二十一日發斎藤滿鐵理事より山本滿鉄社長宛電報 鐵道問題を政務委員會に図る必要なしとの申し入れに對する張學良らの対応について	13

98

四	340	昭和4年2月5日	一三六	田中上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	濟南事件損害賠償に關し王外交部長提案の共 同調査案に同意の旨芳澤公使報告	454
四	339	昭和4年2月5日	一三三	田中上海矢田総領事より 田中外務大臣宛(電報)	謝は口頭で同時相互的に行い共同声明は事件 に關する不快の感情を一掃する旨とすること で落着の旨芳澤公使報告	451
一	22	昭和4年2月4日	公九六	田中吉林川越總領事より 田中外務大臣宛	吉敦鉄道奶子山支線開通について	24
六	525	昭和4年2月4日	外一八	田中閣東長官より 田中外務大臣宛(電報)	關東庁としては輸出付加税導入絶対反対の旨 意見具申	677
六	524	昭和4年2月4日	一一一	田中奉天林總領事より 田中外務大臣宛(電報)	新輸入税率等新税導入に伴う奉天經濟界への 影響について	676
六	523	昭和4年2月4日	合六九	田中奉天林總領事、在上海上村總領事代 理、在青島藤田總領事、在雲南中野領事代理各 宛(電報)	關係国との協調を以て輸出付加税徴収阻止方 訓令	676
六	522	昭和4年2月4日	三四	田中中外務大臣より 在中国堀臨時代理公使宛(電報)	輸出付加税の導入は海關制度破壊の端を開く もの故英國と協調して同税の廃止、海關での 徴税阻止方訓令	675
六	521	昭和4年2月4日	二二三	田中中外務大臣より 田中閣東長官宛(電報)	大連海關での輸出付加税徴収差し控える様 方訓令	674
			三	二月三日発在上海矢田總領事より田中外務大臣宛第二二七号 我が方交換公文案		450
四	338	昭和4年2月3日	一二四	田中上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	陳謝に關する中国側交換公文案 二月三日発在上海矢田總領事より田中外務大臣宛第二二六号 中国側共同声明案	450 449
六	520	昭和4年2月2日	商機密三六	田中上海横竹商務参事官より 田中外務大臣宛	輸出付加税は本邦輸出業者に影響を与える不 法課税であることについて	671
六	519	昭和4年2月2日	外一七	田中閣東長官より 田中外務大臣宛(電報)	輸出付加税は本邦輸出業者に影響を与える不 法課税であることについて	671
五	398	昭和4年2月2日	七	田中廈門坂本領事より 田中外務大臣宛(電報)	廈門地方は台灣方面との密接な地位に鑑み排 日悪化防止のため中国海軍側に尽力を求めた ことについて	542
四	337	昭和4年2月2日	七〇	田中上海矢田總領事宛(電報)	輸出付加税導入差控方北大連海關長に説示 につき今後の対応方請訓	670
二	154	昭和4年2月1日	機密公 一二七	田中奉天林總領事より 田中外務大臣宛	意見具申	161
六	518	昭和4年2月1日	一〇〇	田中奉天林總領事より 田中外務大臣宛(電報)	奉天側では新輸入税率の導入に平静な状況に ついて	670
二	153	昭和4年1月31日	七八 二七五ノ二	田中漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	二分五厘輸出付加税等を税関で徴収との告示 について	670
		昭和4年1月31日	關機高収	藤岡關東庁警務局長より 吉田外務次官他宛	國民政府の海關新税則施行後の省内税局の改 編に關する通達について	160
		昭和四年(一九二九)二月				
四	337	昭和4年2月2日	七〇	田中上海矢田總領事宛(電報)	方澤公使上申三案のうち第一案第三案併用の 方針につき訓令	445
			付記	二月二日付 上申第三案に第一案の口頭陳謝付加方についての陸軍省意見		446
五	398	昭和4年2月2日	七	田中廈門坂本領事より 田中外務大臣宛(電報)	廈門地方は台灣方面との密接な地位に鑑み排 日悪化防止のため中国海軍側に尽力を求めた ことについて	542
六	519	昭和4年2月2日	外一七	田中閣東長官より 田中外務大臣宛(電報)	輸出付加税導入差控方北大連海關長に説示 につき今後の対応方請訓	670
			付記	二月二日発大連商工會議所會頭佐藤より田中外務大臣宛電報		671
六	520	昭和4年2月2日	商機密三六	田中上海横竹商務参事官より 田中外務大臣宛	輸出付加税は本邦輸出業者に影響を与える不 法課税であることについて	671
四	338	昭和4年2月3日	一二四	田中上海矢田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	陳謝に關する中国側交換公文案 二月三日発在上海矢田總領事より田中外務大臣宛第二二六号 中国側共同声明案	450 449
			別電一	二月三日発在上海矢田總領事より田中外務大臣宛第二二五号 陳謝に關する中国側交換公文案		450
			二	二月三日発在上海矢田總領事より田中外務大臣宛第二二六号 中国側共同声明案		450

六	五三九	昭和四年二月十三日	田中外務大臣より 王安福閣下直事電(電報)	八
六	五三八	昭和四年二月十二日	田中外務大臣宛(電報)	一五三
六	五三七	昭和四年二月十一日	在安東岡田領事より 田中外務大臣宛(電報)	一八
四	三四九	昭和四年二月十一日	在上海上村総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	一五七
六	五三六	昭和四年二月九日	在漢口桑島總領事より 田中外務大臣宛(電報)	一〇五
六	五三五	昭和四年二月(9)日	在青島藤田總領事より 田中外務大臣宛(電報)	三四
六	五三四	昭和四年二月九日	在南京岡本領事宛(電報)	二三
六	五三三	昭和四年二月九日	田中外務大臣より 木下関東長官宛(電報)	二六
六	五三二	昭和四年二月九日	田中外務大臣より 在安東岡田領事宛(電報)	五
四	三四八	昭和四年二月九日	田中外務大臣より 在上海上村総領事代理宛(電報)	九二
四	三四七	昭和四年二月九日	在上海上村総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	一五六
五	三九九	昭和四年二月(9)日	在広東矢野総領事より 田中外務大臣宛(電報)	五
四	三四六	昭和四年二月八日	在上海上村総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	一五四
六	五三一	昭和四年二月八日	田中外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	二七
輸出付加税否認の根拠について	………	684		
芳澤公使南京・漢口事件に関し来滬の王外 部長と交渉開始について	………	458		
排日会の日貨検査嚴重のため香港で改装し商 標等を変更の上省内各地に仕向け辛じて取引 をしていることについて	………	543		
損害帳消し案に対し王外交部長依然相互賠償 を主張し交渉決裂の状況に関する芳澤公使報 告	………	459		
陳謝・賠償問題の交渉振り遺憾とし共同声 明による陳謝・処罰・賠償の一括解決方芳澤 公使へ訓令	………	461		
輸出付加税徴収を中國側強行の場合輸出正税 の領事館供託方訓令	………	685		
輸出付加税阻止のため在安東岡田領事および 満鉄と協力方依頼について	………	686		
輸出付加税に関しあくまで抗議継続方訓令	………	686		
輸出付加税阻止のため抗議するも結局納付の 外なき状況については	………	687		
輸出付加税については中国の開稅自主を認め ているため何等抗議せざる旨英國領事説明に ついて	………	687		
陳謝打切り賠償を慰藉金とするなどの難局打 開案につき芳澤公使上申	………	463		
輸出付加税徴税の場合正税のみの支払いに対 して実力行使を行うとの回答振りに関し請訓 ランブソン英國公使より輸出付加税に対する 英國政府の意見接到的旨申越について	………	689		
輸出付加税中國側強行の場合には領事館にて 輸出付加税中国側強行の場合には領事館にて	………	689		
………	………	490		

二	一	七	二	六	四	六	四	四	四	六
156	774	23	155	530	345	529	528	344	527	343
昭和4年2月8日	昭和4年2月(8)日	昭和4年2月7日	昭和4年2月7日	昭和4年2月7日	昭和4年2月7日	昭和4年2月(7)日	昭和4年2月6日	昭和4年2月6日	昭和4年2月6日	昭和4年2月5日
二六	二一	公七三	公二四六	一三〇	八二	一五	一一五	一四六	二五	七五
田中外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 在旅順木下関東長官より	田中外務大臣宛 在海龍坂内分館主任より	田中外務大臣宛 在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在南京岡本領事より	田中外務大臣宛(電報) 在上海矢田総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 在安東岡田領事より	田中外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在上海上村総領事代理より	田中外務大臣宛(電報) 木下関東長官宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 在上海矢田総領事宛(電報)
満鉄付属地内の司法、警察権の運用実態査報方訓令	張宗昌一派並びに在大連中国亡命巨頭等による共和大同盟組織に関する呉光新の談話について	柳河地方における東亜勸業公司所有地の韓僑小作農に対する中国側官憲の威嚇について	張学良の東北辺防司令長官就任式の実施状況について	輸出付加税問題については宋財政部長から妥協交渉を開始について	損害賠償共同調査案には絶対譲歩できない旨芳澤公使へ訓令	輸出付加税阻止を通知する際の問題点につき請訓	輸出付加税徴収否認の条約上の根拠に関する見解回電方請訓	帳消し案で纏めたい旨芳澤公使上申	損害賠償共同調査案の否認は困難につき損害	損害賠償共同調査案は問題を将来に残す故承認し得ざる旨芳澤公使へ訓令
170	1016	24	167	681	458	681	680	457	679	455

六	四	六	六	七	七	四	五	一	六
552	351	551	550	778	777	350	400	24	549
昭和4年2月18日	昭和4年2月17日	昭和4年2月17日	昭和4年2月16日	昭和4年2月16日	昭和4年2月16日	昭和4年2月16日	昭和4年2月16日	昭和4年2月15日	昭和4年2月15日
一〇六	一七一	一六九	一六七	三一	一三一	一〇一	一一九	機密公 一七六	二二
田中外務大臣より 在上海上村総領事代理宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
付記 三月十二日付上海日本商工会議所会頭米里より在上海重光総領事宛書翰 メイズ総税務司を支持、援助することによって本邦利益増進方請願	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
輸出付加税問題に対し単独にても正式抗議提出方訓令	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について	輸出付加税問題については済南事件解決の好機を捉えて王外交部長と交渉の考えなる旨メイズ総税務司に芳澤公使談話について
703	468	702	700	1021	1021	467	467	25	698

七	六	六	六	六	七	六	六	七	六
721	548	547	546	545	544	776	543	542	540
昭和4年2月19日	昭和4年2月15日	昭和4年2月15日	昭和4年2月15日	昭和4年2月15日	昭和4年2月14日	昭和4年2月14日	昭和4年2月14日	昭和4年2月13日	昭和4年2月13日
一六三	一九	一八	一〇	九	二一	三〇	二八	二〇	五
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
付記 二月八日付ハルビン日本商業会議所会頭加藤より田中外務大臣宛哈商発第二二九二号 「支那生産品ノ輸出附加税徴収に關スル件」	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
王外交部長より孫文国葬挙行に当り特派派遣方並び記念樹寄贈を受けた旨申越について	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について	輸出付加税問題に對する抗議の状況について
949	697	696	695	694	1020	693	692	692	691

六	四	七	七	六	七	一	七	七	七	二	七
557	354	789	788	556	787	26	786	785	784	159	783
昭和4年2月23日	昭和4年2月23日	昭和4年2月23日	昭和4年2月23日	昭和4年2月23日	昭和4年2月22日	昭和4年2月21日	昭和4年2月21日	昭和4年2月21日	昭和4年2月21日	昭和4年2月21日	昭和4年2月21日
二三	一九二	三八	三六	八三	一一八	二機密 三二	四八	四七	一四〇	一三八	一八一
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
在間島鈴木總領事より	在上海上村總領事代理より	在芝罘森岡領事より	在濟南西田總領事代理より	在英國松平大使より	在上海上村總領事代理宛(電報)	付記 二月十二日付在奉天林總領事より田中外務大臣宛機密公第一五八号公信	在青島藤田總領事より	在青島藤田總領事より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より	在中國堀臨時代理公使より
共同調査委員会設置条件について芳澤公使宛回答	満鉄付属地内の司法、警察権の運用実態に関する報告	メイズ総税務司が輸出付加税導入につき適予期間設定を示唆した旨の横竹商務参事官報告	張学良が鉄道反対運動激成方吉林省教育庁長に依頼した旨の峰旗談について	張宗昌等の再起運動進捗に対し我が出先機関に措置方注意喚起について	濟南事件解決交渉決裂の場合の声明準備に関する芳澤公使意見具申	田中外務大臣宛第一七八号	間島地方における東亜勸業公司の土地買収計画について	山東地方の擾乱に対する我が方針統一方に関し上申	張宗昌等の山東上陸は今後の同方面の政局並動に對し一層嚴重に取締る方針につき、その行計方出先軍側に注意喚起することについて	間島地方における東亜勸業公司の土地買収計画に對し意見回示方訓令	日本張宗昌支持説が一般に疑惑を高めつつある形勢に鑑み張の報道取扱振りには細心の注意方必要と史料について
707	472	1032	1031	706	1030	26	1030	1029	1028	172	1027

七	七	六	七	六	五	二	四	七	一	六	二	四
782	781	555	780	554	401	158	353	779	25	553	157	352
昭和4年2月21日	昭和4年2月21日	昭和4年2月20日	昭和4年2月20日	昭和4年2月20日	昭和4年2月20日	昭和4年2月19日	昭和4年2月19日	昭和4年2月19日	昭和4年2月18日	昭和4年2月18日	昭和4年2月18日	昭和4年2月18日
七〇	三八	四六	三三	三七	一七二	機密六五	一七七	六六	一三六	一七三	一三四	一〇七
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)
在米田出淵大使宛(電報)	在天津田代總領事代理より	在青島藤田總領事より	在濟南西田總領事代理より	在英國松平大使宛(電報)	在中國堀臨時代理公使より	在局子街田中副領事より	別電 二月十九日発在上海上村總領事代理より田中外務大臣宛(電報)	在上海上村總領事代理宛(電報)	在奉天林總領事より	在上海上村總領事代理より	在奉天林總領事より	在奉天林總領事より
間島地域中国人有力者による日本侵出への對抗策について	濟南事件解決を見るも満蒙における日本の勢力一掃まで排日運動を継続すべき旨の反日会右派幹部の揚言等について	メイズ総税務司を支持し海関行政をめぐる英伝達方訓令	張宗昌等の反国民政府運動具体化に対し我が方対応策決定について	輸出付加税を抗議付託金とし税関勘定にて横浜正金銀行青島支店に預入について	吳光新、張宗昌等の共和大同盟画策に対する段祺瑞の態度について	張宗昌等の大連出発と山東省龍口に上陸し五色旗掲揚について	共同調査委員会設置条件について芳澤公使宛回答	満鉄付属地内の司法、警察権の運用実態に関する報告	メイズ総税務司が輸出付加税導入につき適予期間設定を示唆した旨の横竹商務参事官報告	張学良が鉄道反対運動激成方吉林省教育庁長に依頼した旨の峰旗談について	張宗昌等の再起運動進捗に対し我が出先機関に措置方注意喚起について	濟南事件解決交渉決裂の場合の声明準備に関する芳澤公使意見具申
1027	1026	705	1025	704	545	171	471	470	1024	25	703	170

六	570	昭和4年2月28日	三三	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	予告期間なき陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	721
七	794	昭和4年2月28日	二一	在上海重光総領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	1038
七	793	昭和4年2月28日	一五八	在奉天林総領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	1037
七	792	昭和4年2月28日	一五七	在奉天林総領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	1035
六	569	昭和4年2月27日	三一	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	718
四	355	昭和4年2月27日	二〇五	在上海重光総領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	474
六	568	昭和4年2月27日	五	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	717
七	791	昭和4年2月27日	三五	在奉天林総領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	1034
一	29	昭和4年2月26日	奉電六一	南参謀次長宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	30
七	722	昭和4年2月26日	二〇〇	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	950
七	790	昭和4年2月26日	合一一四	在中國堀臨時代理公使、在奉天林総領 事各宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	1033
六	567	昭和4年2月26日	三一	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	717
六	566	昭和4年2月26日	二三	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	716
六	565	昭和4年2月26日	一九六	在上海上村総領事代理より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	716
一	28	昭和4年2月25日	奉六〇	南参謀次長宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	29
六	564	昭和4年2月25日	一三	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	714
六	563	昭和4年2月25日	一一	牛莊荒川領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	713
六	562	昭和4年2月25日	三九	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	711
六	561	昭和4年2月25日	一五	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	710
六	560	昭和4年2月25日	一四	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	709
一	27	昭和4年2月24日	奉五八	南参謀次長宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	28
六	559	昭和4年2月23日	二九	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	708
二	160	昭和4年2月23日	五二四ノ二	吉田外務次官他宛	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	172
六	558	昭和4年2月23日	二八	田中安東岡田領事より 田中安東岡田領事宛(電報)	陸境特惠関税撤廃に對し抗議お よび領事館供託等の手段による実力阻止方請 訓	707

七	824	昭和4年3月6日	二二七	田中外務大臣宛(電報)	別電 三月六日発在上海重光総領事より田中外務大臣宛第二三八号 中国国民政府農鋳部の漢治萍公司接取管理方訓令	1075
七	723	昭和4年3月(6)日	九二	田中外務大臣宛(電報)	在英國松平大使より	951
五	402	昭和4年3月5日	二二一	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	546
七	798	昭和4年3月5日	三八	田中外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	張宗昌等の拳兵と本邦浪人の奉天城内攪乱計画との関係に関する新聞記者への説明振りについて	1041
七	797	昭和4年3月(5)日	二二〇	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	1041
四	358	昭和4年3月5日	一四〇	田中外務大臣宛(電報)	別電 三月五日発田中外務大臣より在上海重光総領事宛第一四一号 撤兵準備について 陸軍省軍務局および参謀本部との協議	480
六	575	昭和4年3月5日	六	田中外務大臣宛(電報)	在牛莊荒川領事宛	726
六	574	昭和4年3月5日	二四	田中外務大臣より 在間島鈴木総領事宛(電報)	營口においても安東同様輸出付加税導入阻止方訓令	726
六	573	昭和4年3月4日	二四	田中外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	三月三日解決案にて済南事件解決方芳澤公使へ訓令	725
			三	昭和三年九月二十六日付 「漢治萍問題善後措置ニ関スル關係各省保官會議議事要領」	間島においても陸境特惠関税廃止を中止について	1073

二	161	昭和4年2月28日	機密二〇六	田中外務大臣宛(電報)	在間島地方朝鮮人の自主的教育機關を撤廃する旨の国民政府訓令について	173
		昭和四年(一九二九)三月				
七	795	昭和4年3月(1)日	一六四	田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より	1039
六	571	昭和4年3月1日	二二二	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	722
六	572	昭和4年3月1日	二二三	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	723
一	30	昭和4年3月2日	奉電六三	奉天機関より 阿部陸軍次官宛(電報)	張景惠、張作相の鉄道問題に対する意向について	30
七	796	昭和4年3月(3)日	一七九	田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より	1040
四	356	昭和4年3月(4)日	二二九	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	475
			別電一	三月四日発在上海重光総領事より田中外務大臣宛第二二〇号 損害問題に関する議定書案	重光・周交渉で意見の一致をみた損害、陳謝問題についての解決案に関する芳澤公使報告	477
四	357	昭和4年3月(4)日	二二五	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	477
七	823	昭和4年3月4日	二二七	田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より	478
			付記一	昭和三年四月十日付 「漢治萍公司ニ関スル今後ノ措置案」	済南事件解決最終案に至る交渉上芳澤公使留意点について	1068
			二	昭和三年四月二十四日付 「漢治萍問題ニ関スル關係省會議」	国民政府農鋳部より漢治萍公司に対し接収管理命令ありたるを以て交渉員を通じて外交部に抗議について	1067

四	一	七	六	四	二	六	四	二	四	四	一	四	一	七	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四	二	六	四
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

六	六	六	七	七	一	一	一	七	四	一	七	四
588	587	586	808	807	39	38	37	806	370	36	805	369
昭和4年3月23日	昭和4年3月22日	昭和4年3月22日	昭和4年3月22日	昭和4年3月22日	昭和4年3月22日	昭和4年3月22日	昭和4年3月21日	昭和4年3月21日	昭和4年3月21日	昭和4年3月20日	昭和4年3月20日	昭和4年3月20日
二三	二二	二	二四二	五三	二四〇	二三九	機密公 一九四	三三三	一八七	機密三〇三	一四一	三二七
田中在牛莊荒川領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在牛莊荒川領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在吉林川越總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在間島鈴木總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在間島鈴木總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在間島鈴木總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)
輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告	輸出付加税問題については輸出正税のみ納め給う旨報告
739	738	737	1049	1048	38	37	36	1048	495	34	1046	494

七	四	七	二	一	一	六	七	五	六	六	六	四	四
804	368	826	164	35	34	585	803	404	584	583	582	367	366
昭和4年3月20日	昭和4年3月19日	昭和4年3月18日	昭和4年3月18日	昭和4年3月18日	昭和4年3月17日	昭和4年3月15日	昭和4年3月15日	昭和4年3月14日	昭和4年3月14日	昭和4年3月14日	昭和4年3月14日	昭和4年3月13日	昭和4年3月13日
六一	一八三	東鉄三一五	機密公 二八三	二二八	二二五	二二八	外三四	機密二六六	機密七六	外合一四	七	二九一	二八九
田中在芝罘森岡領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在奉天林總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在牛莊荒川領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在牛莊荒川領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在牛莊荒川領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)	田中在上海重光總領事より 在外務大臣宛(電報)
龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見	龍口日本人会長佐野の張宗昌、劉珍年間和議 斡旋に関する森岡領事意見
1046	492	1076	175	33	33	737	1045	548	735	734	734	490	488

四	371	昭和4年3月23日	三四一	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	重光・周内交渉による会議録および交換公文 案の調整状況につき芳澤公使報告	496
六	589	昭和4年3月23日	三二	田中外務大臣より 在間島鈴木総領事宛(電報)	陸境関税廃止に對し朝鮮總督側は領事館供託 による強制通関計画につき具体的実力行使 案回電方訓令	739
四	372	昭和4年3月23日	三四八	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	重光・周内交渉で議事録および交換公文案の 調整成り二四日王部長と関係文書にイニシヤ ルの予定につき芳澤公使報告	498
七	809	昭和4年3月23日	機密公 三〇四	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛	登州における東北軍艦の邦船臨検に關し王遼 寧交渉署長との往復文送付について	1049
四	373	昭和4年3月24日	一九〇	田中外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	済南事件解決関係文書を承認の旨芳澤公使宛 訓令	499
四	374	昭和4年3月24日	三五五	田中外務大臣宛(電報)	王外交部長と済南事件解決関係文書の調印な ど今後の措置に關する打合せ状況につき芳澤 公使報告	499
一	40	昭和4年3月24日	奉電八三	奉天機関より 南参謀次長宛(電報)	張学良の測量開始要請に對する張作相の対応 について	39
四	375	昭和4年3月25日	一九七	田中外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	済南事件解決関係文書調印までの間に南京・ 漢口事件解決方芳澤公使に訓令	501
五	405	昭和4年3月25日	機密八七	田中外務大臣宛	吉林全省各青年団体の排日運動決議について	549
二	165	昭和4年3月27日	機密公 三一八	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛	中国最近の時局に對する奉軍の態度について	182
五	478	昭和4年3月27日	公二八九	田中外務大臣宛	反日会常務委員会が順天時報購読者並び日貨 購買禁止方議決について	626
四	376	昭和4年3月28日		田中外務大臣宛	済南事件解決関係文書	501
五	406	昭和4年3月28日	一二	在香港村上總領事より 田中外務大臣宛(電報)	香港においては済南事件解決するも対日感情 の好転は疑わしき状況について	550
六	590	昭和4年3月28日	三三	在間島鈴木總領事より 田中外務大臣宛(電報)	陸境特惠関税廃止に對する我方抗議は中国側 に効果なき状況について	740

二	166	昭和4年3月28日	本機密 七二	在チチハル清水領事より 田中外務大臣宛	黒龍江省政府の国民政府への対処状況につい て	185
一	41	昭和4年3月29日	二五五	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	済南事件解決後の鉄道問題に對する張学良の 対応につき変化なしとの林總領事宛報告	40
一	42	昭和4年3月30日	二五六	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	齋藤理事との会談の際における鉄道問題解決 交渉経緯に關する張学良の発言について	40
四	377	昭和4年3月30日	三一六	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	付記 四月二日付在滿鉄奉天公所兼田より山本満鉄社長宛 張学良談話要領	42
六	591	昭和4年3月30日	三二〇	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	済南事件解決後の諸懸案中南京・漢口事件を 優先討議する旨王外交部長と打合せについて	507
七	810	昭和4年3月30日	公三二七	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛	王外交部長二月一日より関税自主權を導入し たるものとして本邦の陸境特惠関税撤廃、輸 出付加税反対は根拠なしと談話に付き芳澤公 使報告	741
六	592	昭和4年3月31日	機密三五八	在間島鈴木總領事より 田中外務大臣宛	日本商船の張宗昌および所属部隊輸送に關し 王遼寧交渉署長との往復訳文送付について	1052

昭和四年(一九三〇)四月

五	407	昭和4年4月1日	三一一	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	北平に於ける済南事件解決後の排日状況につ いて	550
一	43	昭和4年4月1日	二五九	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	済南事件解決における日本側讓歩が東三省官 憲に与えた影響について	43
二	167	昭和4年4月1日	公三二九	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛	奉天票の下落状況と我方商工業者に對する影 響について	187
六	593	昭和4年4月2日		外務・大蔵両省係官會議	对中国借款整理問題について	746

2928

六	596	昭和4年4月8日	三二七	在中国堀臨時代理公使より	中国側債務整理が内債優先である事に対し英	750
四	381	昭和4年4月8日	四五三	在上海重光総領事より	漢口事件解決中国側公文中に中国人撫恤の語	516
一	53	昭和4年4月8日	公信一〇三	在局子街田中副領事より	韓島の土地購入禁止を図る中国側の方策につ	53
一	54	昭和4年4月8日	機密一〇四	在局子街田中副領事より	間島地方における非帰化韓僑出資による帰化	53
五	415	昭和4年4月8日	公二九	在暹羅国矢田部公使より	取進捗状況について	54
七	813	昭和4年4月(9)日	八一	在芝罘森岡領事より	芝罘における学生および商人等より張宗昌の	558
五	416	昭和4年4月9日	四六二	在上海重光総領事より	暴状に警告を与えるようにとの要請について	1055
六	597	昭和4年4月9日	四六三	在上海重光総領事より	上海特別市反日会が同会終焉の宣言を通告並	559
六	598	昭和4年4月9日	四四	在安東岡田領事より	芳澤公使より日中間の諸懸案事項を互議的に	751
六	599	昭和4年4月10日	四八	在間島鈴木総領事宛(電報)	芳澤公使より日中間の諸懸案事項を互議的に	751
七	814	昭和4年4月(10)日	八二	在芝罘森岡領事より	芝罘に警告を与えるようにとの要請について	1055
六	600	昭和4年4月10日	機密公 三六二	在奉天森島總領事代理より	芝罘に警告を与えるようにとの要請について	753
一	55	昭和4年4月(11)日	二八〇	在奉天森島總領事代理より	芝罘に警告を与えるようにとの要請について	54

五	417	昭和4年4月(11)日	二八五	在漢口桑島總領事より	對日罷工運動勃発以来上海より増遣の陸戦隊	561
七	815	昭和4年4月(11)日	八五	在芝罘森岡領事より	張宗昌側より日本軍撤兵延期方申出について	1056
五	418	昭和4年4月11日	三七二	在南京岡本領事より	王外交部長の上海反日会の排日運動制止方に	562
七	828	昭和4年4月11日	四／二九	島横浜正金銀行借款課長より	漢口事件解決に關し中国人撫恤関係語句挿入	519
四	382	昭和4年4月12日	三七三	在南京岡本領事より	漢口事件解決に關し中国人撫恤関係語句挿入	518
四	383	昭和4年4月12日	三七五	在南京岡本領事より	漢口事件解決に關し中国人撫恤関係語句挿入	518
六	601	昭和4年4月12日	二四五	在上海重光総領事宛(電報)	輸出付加税問題に關し包括的な解決は日中通	755
七	725	昭和4年4月12日	三四〇	在中國堀臨時代理公使より	外交団会議における孫文国葬参列方に関する	952
一	56	昭和4年4月12日	二八五	在奉天森島總領事代理より	中国側十間房陸軍用地返還要求の対応策につ	55
五	419	昭和4年4月12日	四八四	在上海重光総領事より	救国会の排日運動中止並びに其の趣旨を一般	563
六	602	昭和4年4月(13)日	四八七	在上海重光総領事より	芳澤公使より日中通商条約改訂問題に關し一	756

別電一 四月十三日着在上海重光総領事より田中外交部長より在中國日本公使宛照会文案

32

六	610	昭和4年4月22日	五五六	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	に力方中国側依頼に對し未だ中国側が對日ポ インコットの取締をみざる現状を指摘して反駁 について	772
五	428	昭和4年4月22日	五六七	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	上海特別市救国会が民国日報付録として「救 國週報」発刊並び同会の我が對滿蒙政策に關 し各地党部、救国会宛に通電發出について	571
五	429	昭和4年4月22日	四〇二	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	目下実効ある排日取締りに努力中との周龍光 の申越しに關し芳澤公使宛電報	573
二	171	昭和4年4月22日	公信一二七	在局子街田中副領事より 田中外務大臣宛	間島地方における中国官憲による教育權回收 運動について	191
七	728	昭和4年4月23日	三八四	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	外交団會議における各国代表者の意向は特派 使節派遣を好ましとすることに對して	955
一	63	昭和4年4月24日	三〇六	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	十間房陸軍用地の対処策に對する滿鉄側懸念 についての林總領事宛通報	61
五	430	昭和4年4月24日	五七九	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	排日問題に關し上海總領事館にて開催の領事 會議狀況報告	574
五	431	昭和4年4月24日	五八〇	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	我が領事會議に於ける排日運動対策の討議結 果について	576
五	432	昭和4年4月24日	三九四	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	排日取締りの政府命令受領後における商震の 動向について	577
一	64	昭和4年4月25日	七三	田中外務大臣より 在奉天森島總領事代理宛(電報)	排日取締りに關する行政院命令	578
六	611	昭和4年4月25日	二八四	田中外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	林總領事より十間房陸軍用地問題への対処は 外務省側が率先する必要なしとの通達	62
五	433	昭和4年4月26日	一〇二	在天津田代總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	具体的な日中通商条約改訂商議については後 日に譲るよう芳澤公使宛訓令	772
七	818	昭和4年4月26日		藤岡関東庁警務局長より 成毛内閣拓殖局長宛(電報)	天津在留邦人および商業會議所關係者等が中 国当局の排日取締り振りを不満表示について	579
					張宗昌、吳光新の関東州亡命を阻止について	1058

五	424	昭和4年4月18日	八九 在天津日代総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	567
二	169	昭和4年4月18日	機密公 二八一 在吉林川越総領事より 田中外務大臣宛	190
六	607	昭和4年4月19日	五三五 在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	766
六	608	昭和4年4月19日	五四九 在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	766
五	425	昭和4年4月20日	五四八 在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	569
二	170	昭和4年4月20日	二九九 在奉天森島総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	191
一	61	昭和4年4月20日	三〇〇 在奉天森島総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	59
五	426	昭和4年4月20日	上海日本商工会議所内金曜会より 田中外務大臣宛(電報)	570
一	62	昭和4年4月20日	機密一二六 在局子街田中副領事より 田中外務大臣宛	60
六	609	昭和4年4月21日	五六一 在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	769
五	427	昭和4年4月21日	四〇〇 在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	571
四	389	昭和4年4月22日	五六四 在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	530
七	727	昭和4年4月22日	九六 田中外務大臣より 在中国堀臨時代理公使宛(電報)	955
七	817	昭和4年4月22日	九八 在芝罘森岡領事より 田中外務大臣宛(電報)	1057

五	七	七	五	一	七	七	六	五	六
438	731	829	437	66	730	729	613	436	612
昭和4年5月4日	昭和4年5月(4)日	昭和4年5月4日	昭和4年5月(4)日	昭和4年5月3日	昭和4年5月3日	昭和4年5月3日	昭和4年5月3日	昭和4年5月(3)日	昭和4年5月(3)日
四八三	六一一	三一六	四七八	一一五	四七三	四七二	四二一	一〇〇	四六六
在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海重光總領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在上海重光總領事宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在チチハル清水領事より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在ハルビン八木總領事より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)
付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題	付記 一、在支帝国公使館昇格問題
南京における五三記念式典の挙行状況報告	王正廷より国民政府は駐日公使を大使に昇格したい意向につき其の所見を求められたとの芳澤公使報告	国民政府は国恥記念日挙行に当り補充弁法を公報に発表について	債務整理並びに漢冶萍公司および南滿鐵道接財務官出張について	洮索線の敷設計画について	国民政府は日本側の同政府正式承認よりも大使交換の方を希望しているとの芳澤公使報告	王正廷が米國側において在中國公使館を大使館に昇格する意向がある旨ならびに日本は他國に率先してこれを実行するよう慫慂してきたとの芳澤公使報告	治外法権問題は一般通商条約問題と切離し中國側と商議したい旨の英國側意向に關しラングソン同國公使と意見交換について	濟南事件一周年記念日におけるハルビン学生団の排日行動について	芳澤公使報告
583	959	957	1082	1080	62	957	774	581	773

五	四	四	二	五	一
435	391	390	172	434	65
昭和4年5月2日	昭和4年5月2日	昭和4年5月2日	昭和4年5月1日	昭和4年4月27日	昭和4年4月27日
四一七	四六三	四六三	三二二	三二〇	三二〇
在中国堀臨時代理公使より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天森島總領事代理より 田中外務大臣宛(電報)
在外交団の一致によるボイコット停止提議行動困難について	南京・漢口兩事件解決文書	南京・漢口兩事件解決文書	瀋陽城内搬入貨物への中國側課税に対する我が方抗議について	排日運動が濟南事件解決後も緩和の様子なきため蔣介石、何鍵に対し中國側の誠意ある取締方要求について	鐵道問題交渉を中央管轄に移さんとする張學良側の動向について
581	532	531	192	580	62

昭和四年(一九二九)五月

付記一

昭和五年十月二十九日付幣原外務大臣より太田閣東長官宛
重一機密第二二〇号公信

二 昭和六年六月六日発中谷関東庁警務局長より谷外務省重細亜局長宛電報第一四九号

張宗昌の本邦引揚げ準備について

三 昭和六年六月八日發谷重細亜局長より中谷関東庁警務局長宛電報第四一號

張宗昌の關東州上陸乃至滞在を許し差支なき意向について

四 昭和六年六月八日發幣原外務大臣より在中國重光公使、在北平矢野參事官、在奉天林總領事、在天津桑原總領事、在南京上村領事各宛電報合第三二五号

張宗昌一行の大連向け出発について

五 昭和六年六月十二日付中谷関東庁警務局長より永井外務次官宛関機高支第

六四一七号公信

張宗昌一行の帰来について

鐵道問題交渉を中央管轄に移さんとする張學良側の動向について
排日運動が濟南事件解決後も緩和の様子なきため蔣介石、何鍵に対し中國側の誠意ある取締方要求について

六	二	五	六	五	七	七	一	六	六	一	七
617	175	444	616	443	831	830	72	615	614	71	733
昭和 4年5月 12日	昭和 4年5月 11日	昭和 4年5月 11日	昭和 4年5月 (10)日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 (9)日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 9日	昭和 4年5月 9日
六六四	公四八二	六五八	四五八	五一三	五〇四	五〇三	三一七	六四六	合二八七	八〇	一二八
田中 外務大 臣宛(電 報)	在奉天 林總領 事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在上海 重光總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在中國 堀臨時 代理公 使より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在南京 岡本領 事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在南京 岡本領 事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在南京 岡本領 事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在奉天 森島總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在上海 重光總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在上海 橫竹商 務参事 官宛(電 報)	在奉天 森島總 領事代 理宛(電 報)	在中國 堀臨時 代理公 使宛(電 報)
福本安 税務司 が陸境 關稅お よび輸 出付加 稅を抗 議付通 關した るに對 して中 國側の 批判が 多し旨 岸本よ り聞き 込みに ついて	長春に おける 蒙古王 公會議 について	日貨の 糾察盛 んな折 から新 疆地方 において 依然 締命令 の徹底 取計方 を求め たこと について	上海臨時 法院回 收問題 交渉に つき照 会ない ところ 我が方 の対応 につき 請訓	外交部 に対し 抑留日 貨の返 還取計 方申入 れ並計 方申出 について	側部の 利益を 無視す るもの ではない 旨談話 につい て	陳延炯 總務司 長は漢 治萍公 司接管 問題は 日本側 の利益 を無視 するも のではない 旨談話 につい て	林延最 高幹部 の意向 について	長扶線 敷設に 關して 滿鐵資 金の導 入を図 る吉	金解禁 に對する 意見報 告方訓 令	滿鐵を して吉 會、長 大兩鉄 道建設 請負い 契約を 中國側 に申し 入れに ついて	孫文國 葬には 在中國 公使以 外專使 として 特派 する意 向なき ことにつ いて
778	194	589	778	588	1084	1083	70	777	777	69	965

二	一	七	五	五	五	二	一	一	五	一
174	70	732	442	441	440	173	69	68	439	67
昭和 4年5月 8日	昭和 4年5月 8日	昭和 4年5月 8日	昭和 4年5月 7日	昭和 4年5月 (7)日	昭和 4年5月 (7)日	昭和 4年5月 6日	昭和 4年5月 6日	昭和 4年5月 6日	昭和 4年5月 (5)日	昭和 4年5月 4日
公四五三	機密公 三三五	一四八	六三七	四〇四	四〇二	三一六	三一五	一六四	二三四	機密 五二二
在奉天 森島總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛	在吉林 川越總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在米國 出淵大 使より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在上海 重光總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在漢口 桑島總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在漢口 桑島總 領事より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在奉天 森島總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在奉天 森島總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛(電 報)	田中 外務大 臣より 在米國 出淵大 使宛	在濟南 西田總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛(電 報)	在間島 市川總 領事代 理より 田中 外務大 臣宛(電 報)
國民政府 の遼寧 省行政 への干 渉状況 について	吉會鉄 道交渉 に關し ては中 央政府 直轄と する きかけ につい て	在中國 公使館 昇格問 題に關 し意見 具申	日本商 工會議 所金曜 會で報 告され た日貨 取引 状況に ついて	李交渉 員より 水案及 び反日 會、罷 工委員 會を取 消しに 關し先 ず日本 側が陸 戰隊を 撤退し て誠意 を示す 様申し 越すに ついて	日運動 取締を 求め應 酬した ことにつ いて	李交渉 員が水 杏林事 件に關 する解 決条件 を提示 したの で我が 方は罷 工問題 は勿論 一切の 反	中国側 官憲の 日本商 品取扱 い並び に中國 商に 對する 銷場稅 徵收強 要につ いて	對する 銷場稅 徵收強 要につ いて	長大、 吉長延 長兩線 の起工 期限満 了に際 しては 強行着 工に踏 み切る べしと の意見 具申	「林總 領事ニ 對スル 大臣訓 示」 付記二 「昭和 四年五 月四日 林總領 事ニ對 スル大 臣訓示」 付記一 「昭和 四年四 月二十八 日付 對滿蒙 方針案」
194	68	963	587	586	585	193	68	67	66	65

吉會鉄道問題について日本の進出に對抗する
ため間島地域を起点とした殖産興業を奨励する
國民政府訓令
濟南における五三、五四記念大会の状況報告
滿蒙懸案に對しては我國權益擁護を図るべく
個々の問題に對しては是非々々主義で臨むべき旨
林總領事へ申し渡しについて

二	一	二	七	六	六	二	七	五	七	七	五	
183	77	182	738	622	621	181	737	449	736	735	448	180
昭和 4年5月 21日	昭和 4年5月 21日	昭和 4年5月 21日	昭和 4年5月 21日	昭和 4年5月 21日	昭和 4年5月 20日	昭和 4年5月 20日	昭和 4年5月 20日	昭和 4年5月 19日	昭和 4年5月 18日	昭和 4年5月 18日	昭和 4年5月 18日	昭和 4年5月 17日
機密公 三五六	機密四〇四	機密公 四九八	七〇四		七〇〇	三三八	人普通 二二一	四四九	八八	八七	六八八	五三九
田中林川越総領事より	在吉林川越総領事より	田中外務大臣宛	在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事宛(電報)	在南京岡本領事宛(電報)	在上海重光総領事より	在南京岡本領事より
付記	昭和四年五月調	東三省ニ於ケル国民党支部										
学校、軍隊、各級党部機関に於ける排日教育の現状について	芳澤公使の信任状を孫文移柩祭以前に提出したいと思考するので日取等に関し中国側に打合せ方指令	芳澤公使の信任状を正式申入れの前に国民政府に確めおく事項について	陸戦隊の撤退を水案と切り離すと共に反日取締りの好機と考えられる旨の朱祝元との合意について	芳澤公使の信任状立案上奏について	四行連合発行準備庫暫行章程について	債権者会議の召集は当分見込なき模様なる旨曾宗鑑談話について	債権者会議開催前に関税増収分の五百万元を流用されぬよう横浜正金銀行に積立方訓令	孫文移柩祭参列前の信任状提出に関し王外長部長と会談について	蔣介石・馮玉祥間関係と張學良の態度に関する袁金鎧談話について	鉄道交渉に関する東北当局と国民政府当局との交渉状況についての蔡ハルビン交渉員談	吉林省政府の学生運動取締りに対する吉林省城学生の対応について	引致した国民党中央常務委員會議の決議事項等について
214	73	212	970	783	782	212	967	594	966	965	592	209

六	五	二	一	七	六	一	一	五	一	二	二	五	六	二
620	447	179	76	734	619	75	74	446	73	178	177	445	618	176
昭和4年5月16日	昭和4年5月16日	昭和4年5月16日	昭和4年5月16日	昭和4年5月16日	昭和4年5月16日	昭和4年5月15日	昭和4年5月15日	昭和4年5月15日	昭和4年5月15日	昭和4年5月15日	昭和4年5月15日	昭和4年5月14日	昭和4年5月14日	昭和4年5月13日
六八〇	三三一	三二九	三二八	一四六	三三三	一七三	機密 五七一	一一一	一〇	一〇八	三二七	三二六	一三七	九
田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛	在間島市川総領事代理より 田中外務大臣宛	在天津田代総領事代理より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より 田中外務大臣宛(電報)
在上海重光総領事より	在奉天林総領事より	在奉天林総領事より	在奉天林総領事より	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より	田中外務大臣宛	在間島市川総領事代理より	在天津田代総領事代理より	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より
田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より	田中外務大臣宛	在間島市川総領事代理より	在天津田代総領事代理より	田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣宛(電報)	在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報)	在中國堀臨時代理公使宛(電報)	田中外務大臣より
吉林省政府の三民主義教育の充実化状況について報告	閔保国公使による上海臨時法院回収問題の会合に適宜参加方訓令	奉天商工總會、教育会等発起の民衆教育大会開催について	南北妥協により国民党氣風の浸潤、排日的空氣醸成の形勢について	ハルビン地方では排日教育を特に重視している状況無き旨の報告	吉海鐵道全線營業開始について	反日会は改称を實行せず且つ日貨封鎖期限を延長し通商条約改訂、二十一箇条約取消まで排日運動を停止しない構えについて	長春学生会の吉会鐵道敷設反対宣言	局子街における「五鉄反抗会」の設立について	輸出付加税問題が本邦人稅務司の地位に累を及ぼさぬ様注意方訓令	芳澤公使の孫文國葬參列資格は英國と同様の方法に倣いたる国々等について	鐵道問題に關して寧ろ國民政府中央との交渉方得策なる旨の張學良談について	馮、蔣、閻との關係等に関する張學良の談話について	排日の行動取締りに關する張學良の談話要領について	上海における金解禁の影響に關する横竹商務參事官報告
781	591	208	72	965	780	71	71	590	70	208	207	590	779	207

七 749	七 748	七 747	七 746	七 745	五 452	七 744	三 237	二 186	一 80	五 451	七 743	七 742	五 450	二 185	一 79	五 479	六 624	七 832	七 741	七 740	一 78	六 623	二 184	七 739	
昭和4年6月3日	昭和4年6月(2)日	昭和4年6月1日	昭和4年6月(1)日	昭和4年5月31日	昭和4年5月30日	昭和4年5月30日	昭和4年5月31日	昭和4年5月30日	昭和4年5月30日	昭和4年5月30日	昭和4年5月30日	昭和4年5月30日	昭和4年5月28日	昭和4年5月27日	昭和4年5月27日	昭和4年5月25日	昭和4年5月24日	昭和4年5月23日	昭和4年5月23日	昭和4年5月23日	昭和4年5月22日	昭和4年5月22日	昭和4年5月22日	昭和4年5月22日	
六一五	六〇五	一九八	六〇一	五九七	七四二	七三八	三三七	三五一	機密公 三七一	一四四	七三六	三九	五六一	機密公 五二〇	公五一九	五四九	機密四一	七一二	三四五	九〇	機密公 五〇八	機密三六〇	機密公 二一三	五六二	
田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在米出国淵大使宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在南京岡本領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	在上海重光総領事より 田中外務大臣宛(電報)	田中外務大臣より 在ソ連田中大使宛	田中外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在吉林川越総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在天津岡本総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	田中外務大臣宛(電報) 木下関東長官宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 在中国堀臨時代理公使より	田中外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在中国堀臨時代理公使より	田中外務大臣宛(電報) 在中國芳澤公使(在京中)宛	田中外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 在南京岡本領事宛(電報)	田中外務大臣宛(電報) 田中外務大臣宛	田中外務大臣宛(電報) 在天津岡本総領事より	田中外務大臣宛(電報) 在鄭家屯大野領事館事務代理より	田中外務大臣宛(電報) 在南京岡本領事より		
昭 和 四 年 (一 九 二 九) 六 月																									
別 電 六月一日発田中外務大臣より在米出国淵大使宛第一九九号 右説明内容																									
孫文移柩祭参列の各国代表者に対する中国側待遇振りについて																									
台湾民衆党代表の孫文移柩祭参列申込み拒絶について																									
日本側の在中国公使館昇格問題に対する意向説明振りについて																									
孫文移柩祭における外国使節の儀礼状況に關し芳澤公使報告																									
吉海鐵道の各種欠点について																									
蔣・馮対立に關し東北四省の態度について																									
当面の対ソ政策上注意すべき諸点について																									
台湾民衆党代表と称する者の孫文移柩祭参列について																									
在華日本商工會議所等よりボイコットの終息を待つて条約改訂商議に臨む様要望について																									
孫文移柩祭における外国使節の儀礼状況に關し芳澤公使報告																									
關東庁各官衙においては孫文国葬半旗掲揚の必要なきについて																									
在上海大韓民国臨時政府代表等の孫文移柩祭参列について																									
中国側が反日運動取締に不徹底な理由について																									
遼寧省における三民主義教育の進捗状況について																									
中国側が通商改訂交渉に當り排日運動を驅引きの具として利用することに着目し同運動対策考究方意見具申																									
順天時報發送方命令に對し郵便局長より反日会が同報を持ち去るので武力を以て同会取締方を申し出たとの商震内話について																									
満鉄、大連への對抗策として北寧、奉海、營口各支線の運賃割引の実施について																									
遼寧省における三民主義教育の進捗状況について																									
中国側が通商改訂交渉に當り排日運動を驅引きの具として利用することに着目し同運動対策考究方意見具申																									
日中通商条約改訂商議方針に關し訓令																									
日中通商条約改訂商議方針案大綱																									
昭 和 四 年 五 月 十 八 日 付 一 日 支 通 商 条 約 改 訂 方 針 案 大 綱																									
二 五 月 七 日 付 在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰 日 中 通 商 条 約 商 議 方 法 と 太 平 洋 問 題 調 査 会 に 對 す る 私 見																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理 公 使 有 田 亜 細 亜 局 長 宛 書 翰																									
在 中 国 堀 臨 時 代 理																									

三	241	昭和4年6月7日	田中外務大臣宛(電報)	六三七	田中外務大臣宛(電報)	在ハルビン連総領事館の捜索は張景恵の独断行為と認められる旨報告	308
三	240	昭和4年6月7日	田中外務大臣宛(電報)	三六二	田中外務大臣宛(電報)	在ハルビン連総領事館の捜索は突発事件との張学良談話について	308
七	751	昭和4年6月7日	田中外務大臣宛(電報)	三六〇	田中外務大臣宛(電報)	中国諸問題に関し意見交換について	980
二	188	昭和4年6月6日	田中外務大臣宛(電報)	一〇三	田中外務大臣宛(電報)	在ハルビン連総領事館の捜索は国民政府の命令によるものか確認方訓令	307
三	239	昭和4年6月6日	田中外務大臣宛(電報)	三六一	田中外務大臣宛(電報)	中国側の対応振りについて	219
五	455	昭和4年6月6日	田中外務大臣宛(電報)	公五四九	田中外務大臣宛(電報)	奉天票の下落と四行連合発行準備庫による兌換券発行について	218
二	187	昭和4年6月5日	田中外務大臣宛(電報)	機密往信 一五四	田中外務大臣宛(電報)	奉天票の下落と四行連合発行準備庫による兌換券発行について	1086
七	833	昭和4年6月5日	田中外務大臣宛(電報)	五四	田中外務大臣宛(電報)	南滿鉄道の東亜興業会社に対する補助金交付は今後容易に実行されざるものと推察について	599
五	454	昭和4年6月5日	田中外務大臣宛(電報)	四九九	田中外務大臣宛(電報)	反日会の横暴に対し中央党部より省党部に厳重取締方訓令を与えること最も得策との意見	598
五	453	昭和4年6月5日	田中外務大臣宛(電報)	六二二	田中外務大臣宛(電報)	陸戦隊撤退にもかかわらず反日運動継続中なるも漸次運動終息の方向と観取せられるについて	980
七	750	昭和4年6月(4)日	田中外務大臣宛(電報)	機密四五三	田中外務大臣宛(電報)	孫文移柩祭の公式日程終了に関する芳澤公使報告	302
三	238	昭和4年6月3日	田中外務大臣宛(電報)	機密四五三	田中外務大臣宛(電報)	在ハルビン連総領事館捜索状況の詳細について	979

別電一

六月三日発在南京岡本領事より田中外務大臣宛第六一六号
右に関する芳澤公使口上書

二 六月三日発在南京岡本領事より田中外務大臣宛第六一七号
右に関する蔣介石主席の答辭訳文

七	752	昭和4年6月7日	田中外務大臣宛(電報)	六六二	田中外務大臣宛(電報)	孫文移柩祭参列のため南京入りした在上海大韓民国臨時政府代表帰来に関する報告	984
五	456	昭和4年6月(8)日	田中外務大臣宛(電報)	七五八	田中外務大臣宛(電報)	王正廷に対し通商条約商議開始前に徹底有効な排日取締措置方を申入れたとの芳澤公使報告	601
六	625	昭和4年6月8日	田中外務大臣宛(電報)	七五九	田中外務大臣宛(電報)	王外交部長の輸出付加税および陸境関税問題早期解決方申し出に対し輸出付加税問題について協議しかるべき旨回電方芳澤公使訓令	792
六	626	昭和4年6月(8)日	田中外務大臣宛(電報)	七六〇	田中外務大臣宛(電報)	新税率取極の往復公文発表に關し宋部長談々同意について芳澤公使報告	793
五	457	昭和4年6月(8)日	田中外務大臣宛(電報)	七六一	田中外務大臣宛(電報)	現下の排日運動対策としては国民政府を督励鞭撻して取締りの手段を講ずる外方途なきとの芳澤公使意見具申	602
五	458	昭和4年6月(9)日	田中外務大臣宛(電報)	六七〇	田中外務大臣宛(電報)	全国反日会臨時代表大会において名称を政府の幹旋で「国民排除不平等条約促進会」と改めた旨報告	604
二	189	昭和4年6月9日	田中外務大臣宛(電報)	奉商發 二七九	田中外務大臣宛(電報)	奉天票下落に対する奉天商工会議所の請願法権撤廃に賛成することは延いて日本の満蒙權益喪失につながる旨意見具申	220
六	627	昭和4年6月(10)日	田中外務大臣宛(電報)	六〇五	田中外務大臣宛(電報)	在上海岡本領事をして王正廷に対し反日運動の徹底的取締りを要請と同時に廃約促進会の組織大綱改正等の措置方を要求する様訓令ありとの芳澤公使要請	793
五	459	昭和4年6月(11)日	田中外務大臣宛(電報)	三二七	田中外務大臣宛(電報)	周龍光が輸出付加税および陸境関税問題につき日本の譲渡方要請について	604
六	628	昭和4年6月11日	田中外務大臣宛(電報)	六五六	田中外務大臣宛(電報)	中国側が反日運動取締りに誠意を以て応じない場合は条約改訂商議を開かない方針を採る様意見具申	795
五	460	昭和4年6月(13)日	田中外務大臣宛(電報)	六一八	田中外務大臣宛(電報)	高紀毅は鉄道問題につき蔣介石と会談の予定との情報について	605
一	81	昭和4年6月(13)日	田中外務大臣宛(電報)	三七二	田中外務大臣宛(電報)	高紀毅は鉄道問題につき蔣介石と会談の予定との情報について	78

天津反日会が天津特別市国民廢除不平等条約促進会と改称し成立大会挙行について	609
穆密鐵道測量終了と吉岡鐵道方正烏珠間の測量開始について	84
王外交部長が本年中は領事裁判權撤廢の一点に向け努力する旨演説したことについて	802
濱口内閣に対する日中親善のため上海各路商會聯合会より要望事項について	803
濱口内閣成立に関する中国新聞論評について	804
吉林省政府による国民党員逮捕について	229
朝鮮人の雇用による水田経営を禁止する旨の吉林省農鋌庁長訓令について	230
日本側抗議により法庫県内小学校の排日唱歌の禁令発布について	230

輸出付加税問題等の解決は日中通商条約改訂 の議の際一括して行い中国側の排日取締りを 交換条件化する意図に依ぜざる様訓令	801
今後榊原に無断で中国側が同人農場を使用す ることがなきよう中国側へ通告について	81
今回問題の榊原農場の商租権は確実なもの の報告	82
朝鮮人の雇用による水田経営を禁止する旨の 遼寧省農鉱庁長訓令について	228
安東、新義州間密輸は中国側に付属地回収の 口実を与える可能性があるにつき取締り必要 との意見具申	82

王外交部長に対し廃約促進会組織大綱中の不 隠当な条項削除方を要望について	606
呂榮寰中東鉄道督辦の時局観について	309
中国側官憲による奉天票価格維持策について	222
張学良の軍隊移動は蔣・閻に対する消極的援 助の形式に過ぎないとの見方について	226
全国反日会臨時代表大会宣言が中国商並び 日団体の活動に及ぼす影響観測について	607
奉天における孫文移柩祭状況報告	984
商震が反日会の順天時報抑留並び同紙配達妨 害に關し南京よりの民衆訓練部指導委員の着 任を待てり取締りたいと述べたことについて	628
青島在華紡の工会活動活発化と職工風潮悪化 につき中国側へ警告について	917
陸境特惠関稅撤廢の影響に關する調査報告	796
債務整理問題等について	800
蔣介石は東北四省鐵道敷設費は全額中央政府 が支出する旨を高紀毅に言明について	79
吉林省城中国人学生による救国会組織につい て	227
戴天仇に廃約促進会組織大綱中の不穩当条項 削除方に關し斡旋を要請について	608
吉林省政府による吉同鐵路籌備処設置に關す る決定について	79
神原による同人農場内中国側鐵道の遮斷工事 強行に至る経緯について	80

五	六	三	一	六	一	二	六	六
468	639	245	96	244	638	95	198	637
昭和4年7月18日	昭和4年7月18日	昭和4年7月18日	昭和4年7月16日	昭和4年7月14日	昭和4年7月14日	昭和4年7月14日	昭和4年7月13日	昭和4年7月13日
四三五	一一〇	三二四	機密公 四七一	三二一	七六二	八六〇	機密公 六四六	七六〇
在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣より 在南京岡本領事宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	在ソ連田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在吉林川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	在ソ連田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	在中国芳澤公使より 幣原外務大臣宛(電報)	在上海上村総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)
青島在華紡経営者側「不良職工」を解雇して あれば一斉休業方決議を中国側へ通告につ いて	王外交部長が日本共産党佐野學引渡問題を陸 境関税および輸出付加税問題の懸引材料とし たことについて	付記一 六月二十五日発田中外務大臣より在中国芳澤公使宛電報第二〇七号 佐野學は共産党事件真相究明に必要なゆえ當地方面に出向く予定の蔣介石に 至急引渡交渉方訓令	六月二十六日発田中外務大臣より在中国芳澤公使宛電報第二〇八号 佐野學引渡に対し租界内で潜伏中の中国共産党委員引渡の先例を交渉上使 用方訓令	中国側利権回収熱に対応する上からも関東州 外警察権を外務省に統一する必要がある旨意 見具申	張學良、蔣介石会談の結果東三省の外交問題 は国民政府中央に引き継ぐこととなった旨の 羅振邦の内話について	正に閣下談話発表表に対して不平等条約改 正に交渉し談話発表表について	中国の中東鉄道回収に対しソ連期限付要求ノ イトを交付について	北陵鉄道支線遮断事件に対する吉林省内学生 および各団体の反応について
中東鉄道問題に関しソ連の忍耐にも限度があ るとのカラハンの談話について	中国側が通商条約の効力問題に言及する場合 は請訓の上措置し引続き先例を引き簡単に佐 野學引渡督促方訓令	外交協会、商工総会側は東支鉄道問題紛糾の ため極力排日運動取締に努めていることに ついて	810	312	89	311	809	89
614	810	312	89	311	809	89	231	806
917	806	808	808	808	808	808	808	808

五	465	昭和4年7月4日	三井物産本店業務課次長より 外務省通商局宛	南方各地の排日状況に関する在シンガポール 三井物産支局長報告	610
一	89	昭和4年7月(5)日	在南京岡本領事より 幣原外務大臣宛(電報)	全国廃約促進会が榊原の北陵鉄道支線遮断等 を理由に、対日経済絶交、行方通令を決議した 旨の情報について	84
六	635	昭和4年7月(7)日	在上海上村総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	宋財政部長が第一回内外債整理委員会開催を 言明について	805
五	466	昭和4年7月8日	在南京岡本領事より 幣原外務大臣宛(電報)	全国廃約促進会が我が内閣更迭に関連し、「日 本民衆ニ告グルノ書」発表方決議について	612
六	636	昭和4年7月8日	八三七 在上海上村総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	輸出付加税率の改訂あるも、最高率五分を越え ざる旨の松浦運内話について	805
一	90	昭和4年7月8日	機密公 在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛	安東、新義州間密輸の放任は日本側の公正な る態度を傷つけるにつき取締り方意見具申 について	85
一	91	昭和4年7月9日	四〇四 在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	北陵鉄道支線遮断前後の京奉鉄路局の動向に ついて	86
一	92	昭和4年7月(9)日	四〇五 在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	北陵鉄道支線遮断事件を契機として遼寧省国 民外交協会の成立について	87
二	197	昭和4年7月(10)日	七三四 在中国芳澤公使より 幣原外務大臣宛(電報)	張学良来平の目的について	231
五	467	昭和4年7月(11)日	八四五 在上海上村総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	最近の各地における排日運動の実状並びに中央 党部が上海市党部に対し日本との条約改訂交 渉、日本の内閣更迭に關して密令を発したと の情報について	612
一	93	昭和4年7月(11)日	一三 在鉄嶺近藤領事より 幣原外務大臣宛(電報)	鉄嶺商務会に北陵鉄道支線遮断事件に抗議す るため省内一斉の排日貨の断行を求める遼寧 省総商会の通告について	87
一	94	昭和4年7月11日	機密公 在鄭家屯大野領事館事務代理より 幣原外務大臣宛	洮索線の着工準備開始について	88
三	243	昭和4年7月12日	四〇九 在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側エムシャーノフ管理局長はカロシア人 幹部を罷免し中東鉄道の実権回収について	310

三	259	昭和4年7月29日	二九二	在米国外務大臣宛(電報)	米国外務長官が不戦条約の効力発生と関連して中ソ紛争に憂慮表明について	334
六	641	昭和4年7月27日	四二四	幣原外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	ソ連が中国に国交断絶を通告について	313
三	258	昭和4年7月26日	二四六	幣原外務大臣より 在中國堀内臨時代理公使宛(電報)	幣原外相が中ソ紛争の平和的解決に積極的意向表明について	314
三	257	昭和4年7月25日	二八二	在米国外務大臣宛(電報)	幣原外相中ソ紛争解決に仲介的役割を辞さずと言明について	315
三	256	昭和4年7月25日	八一五	幣原外務大臣宛(電報)	青島在華紡六社は緊急協議を開催臨時休業と「不良分子」の解雇方決定について	318
三	255	昭和4年7月25日	二七四	在中國堀内臨時代理公使より	国民政府文官処より河北、福建兩省政府等に対し反日取締りの訓電発出並びに北平反日会が北平国民慶約促進会と改称したことについて	314
三	254	昭和4年7月24日	三五六	在米国外務大臣宛(電報)	幣原外相が中ソ紛争の平和的解決を希望するが干渉の意向なき旨伝達について	313
三	253	昭和4年7月24日	二七四	幣原外務大臣宛(電報)	周龍光司長と会見し佐野學引渡問題に対し王外交部長が付加税問題を駁引材料としたるを抗議について	314
六	640	昭和4年7月23日	八二一	在南京岡本領事より	幣原外相が中国は面目を維持しつつ平和交渉を導きたき意向とソ連大使に談話について	811
三	252	昭和4年7月23日	二二五	吉田外務次官 ドブレル仏国臨時代理大使	カラハンが仏国の中ソ紛争調停申出を拒否と言明について	322
三	251	昭和4年7月22日	二二六	幣原外務大臣宛(電報)	米国外務長官が列国代表による委員会を組織し中ソ紛争の調停にあたる案に関し日本側の意向打診について	323
三	250	昭和4年7月21日	二二五	在長春永井領事より	中ソ国交断絶後の両国利益保護は独国が当る旨在中國独国外務大臣宛談話について	325
六	697	昭和4年7月22日	二二六	在青島藤田總領事より	米国外務長官が列国代表を召集し列国による和協委員会の中ソ紛争解決斡旋を提議について	326
三	250	昭和4年7月21日	二二五	幣原外務大臣宛(電報)	在米国外務大臣宛(電報)	327
二	200	昭和4年7月20日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	328
二	199	昭和4年7月20日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	329
一	97	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	330
五	469	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	331
六	695	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	332
三	249	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	333
三	248	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	334
三	247	昭和4年7月18日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	335
三	246	昭和4年7月18日	二二五	在青島藤田總領事より	在米国外務大臣宛(電報)	336

三	251	昭和4年7月23日	二二六	幣原外務大臣宛(電報)	米国外務長官が不戦条約の効力発生と関連して中ソ紛争に憂慮表明について	313
六	697	昭和4年7月22日	二二六	幣原外務大臣宛(電報)	ソ連が中国に国交断絶を通告について	314
三	250	昭和4年7月21日	二二五	在長春永井領事より	幣原外相が中ソ紛争の平和的解決に積極的意向表明について	315
六	696	昭和4年7月21日	二二五	在青島藤田總領事より	幣原外相中ソ紛争解決に仲介的役割を辞さずと言明について	318
二	200	昭和4年7月20日	二二五	在青島藤田總領事より	青島在華紡六社は緊急協議を開催臨時休業と「不良分子」の解雇方決定について	314
二	199	昭和4年7月20日	二二五	在青島藤田總領事より	国民政府文官処より河北、福建兩省政府等に対し反日取締りの訓電発出並びに北平反日会が北平国民慶約促進会と改称したことについて	315
一	97	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	幣原外相が中ソ紛争の平和的解決を希望するが干渉の意向なき旨伝達について	313
五	469	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	周龍光司長と会見し佐野學引渡問題に対し王外交部長が付加税問題を駁引材料としたるを抗議について	314
六	695	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	幣原外相が中国は面目を維持しつつ平和交渉を導きたき意向とソ連大使に談話について	811
三	249	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	カラハンが仏国の中ソ紛争調停申出を拒否と言明について	322
三	248	昭和4年7月19日	二二五	在青島藤田總領事より	米国外務長官が列国代表による委員会を組織し中ソ紛争の調停にあたる案に関し日本側の意向打診について	323
三	247	昭和4年7月18日	二二五	在青島藤田總領事より	中ソ国交断絶後の両国利益保護は独国が当る旨在中國独国外務大臣宛談話について	325
三	246	昭和4年7月18日	二二五	在青島藤田總領事より	米国外務長官が列国代表を召集し列国による和協委員会の中ソ紛争解決斡旋を提議について	326

一	102	昭和4年8月7日	八九八	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 八月八日付在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	安東、新義州密輸取締りに関して日本側の協力を求める中国外交部来翰	98
三	266	昭和4年8月7日	八九二	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)			342
三	265	昭和4年8月7日	二六〇	幣原外務大臣より 在中国堀内臨時代理公使宛(電報)			341
六	699	昭和4年8月6日	二四九	在青島藤田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)			922
一	101	昭和4年8月(6)日	四八〇	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)			97
一	100	昭和4年8月5日	機密二四九	在安東芝崎領事代理より 幣原外務大臣宛			96
一	99	昭和4年8月5日	機密二五三	在長春永井領事より 幣原外務大臣宛			95
三	264	昭和4年8月(5)日	八八八	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)			340
六	643	昭和4年8月3日	九三一	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	付記 昭和四年九月二十日付 「在北京對支借款團団体代表者南遷ノ件」		816
六	698	昭和4年8月2日	二四二	在青島藤田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)			921

五	482	昭和4年8月1日	八五九	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	商震に郵務工会の順天時報汪迫に關し注意喚 起したところ郵便局に市党部宣傳員代表を派 遣したところ同報遞送方取計いたし旨語ったことにつ いて	637
二	201	昭和4年8月1日	機密二七〇	在局子街田中副領事より 幣原外務大臣宛	間島地域における遼寧外交協進会の活動につ いて	236
一	98	昭和4年8月2日	四七四	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	山本満鉄總裁辭任にともなう理事の人事移動 に際しては外務省関係者の推薦を求める意見 具申	94
三	261	昭和4年7月30日	一八三	幣原外務大臣より 在英國松平大使宛(電報)	米國提案等に対する我が方態度を英國大使に 談話について	337
三	262	昭和4年7月30日	二九七	在米國出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	米國國務長官は日本の靜觀方針を了承し同國 の関心は不戰條約擁護にあると談話について	337
三	263	昭和4年7月31日	四七三	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	東三省は中ソ紛争に際し日本の野心を警戒の 模様なる旨報告	339
六	642	昭和4年7月31日	九二〇	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	内外債整理委員會第一回事務會議で債務整理 を急ぐ宋・王兩部長と漸進主義をとる胡漢民 間で意見対立と曾宗鑑談話について	813
別電		七月三十一日		在上海重光總領事より幣原外務大臣宛第九二二号 内外債整理委員會第一回事務會議について 調査方決定について		815
三	260	昭和4年7月30日	二九六	幣原外務大臣より 在米國出淵大使宛(電報)	中ソ紛争に關する米國國務長官提案に対する 我方態度表明について	335
五	481	昭和4年7月29日	八五三	在中國堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	為取締りを要望した際中央党部宣傳部長より 同報掲載の論說に關して注意方要望があった ことについて	629

昭和四年(一九二九)八月

三	三	二	三	三	一	三	五	六	三	三	六	一	一	二	一	五	六	一	一	五	三	三	三	三
277	276	203	275	274	108	273	472	702	272	271	701	107	106	202	105	471	700	104	103	470	270	269	268	267
昭和4年8月24日	昭和4年8月24日	昭和4年8月22日	昭和4年8月22日	昭和4年8月22日	昭和4年8月21日	昭和4年8月20日	昭和4年8月19日	昭和4年8月17日	昭和4年8月17日	昭和4年8月16日	昭和4年8月16日	昭和4年8月15日	昭和4年8月15日	昭和4年8月13日	昭和4年8月13日	昭和4年8月13日	昭和4年8月11日	昭和4年8月10日	昭和4年8月9日	昭和4年8月9日	昭和4年8月9日	昭和4年8月8日	昭和4年8月8日	昭和4年8月8日
九七一		機密公 七五五	九八九	五一	本二二七		九八三	二五八	八九九	四一五	八八四	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二	二機密 一二二
幣原外務大臣宛(電報)	汪中国公使	田中外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
在中國堀内臨時代理公使より	汪中国公使	田中外務大臣宛	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
青島工整会糾察隊の嚴重取締措置振り並びに 蔣介石の同隊解散方電命ありたる旨の周龍光 申越しについて	カラハン、スチムソン米國國務長官の提案に 不快表明について	中ソ紛争を利用して日本が吉会鐵道問題の解 決を図らんとしている旨の中國外交部入手情 報について	青島では日本海軍艦艇の來着もあり中國側が 問題解決を焦燥している状況について	排日貨運動は事実上終息し日貨の商況も活発 化の趨勢なるが最近突然中國人所有の日本糖 が排日団体で没収され中國商不安の氣配につ いて	幣原外相が中東鐵道紛争についての中國側の 対応に疑義表明並びに第三國の干渉問題に關 し談話について	洮索線の起点および起工式について	張學良が芳澤公使に對し軍事行動は張が裁決 し外交交渉は中央が担当と談話について	蔣介石は中東鐵道紛争への日本の介入を警戒 について	遼寧省黨務指導委員への張學良政權首腦の就 任について	汪中國公使が中東鐵道管理局局長は理事會の推 薦によるものにしてソ連の任命は違法との見推 解表明について	朱紹陽の滿洲里引揚と中東鐵道交渉頓挫の事 情について	十間房陸運用地問題の最終的解決について	中ソ紛争にとりなり内蒙各王公の動搖抑止を 図るための蒙古王會議開催について	中國側による吉海、吉長兩線連絡工事の進捗 状況について	安東、新義州間密輸の取締りについては朝鮮 總督府および關東東庁の協力が必要につき兩官 庁に適切な方策を求める照會	安東警察の取締り躊躇に對する批難について	中國側の糾察隊取締強化のため中國中央での 交渉方を芳澤公使に要望について	國民政府より福建省政府宛の排日行動に對す る密令について	別電 八月十三日發在福州田村總領事より幣原外務大臣宛第一三三三號 右國民政府密令	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報)
924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924	924

三	282	昭和4年8月31日	五三五	在奉天林總領事より	国民政府の対ソ交渉再開の理由について	363
三	283	昭和4年8月31日	四三〇	幣原外務大臣宛(電報)	独国の斡旋による中ソ交渉の進展状況について	364
三	284	昭和4年8月31日	四三二	幣原外務大臣宛(電報)	カラハンが中国側提議を評価し中東鉄道売却問題に言及について	365
六	679	昭和4年8月31日	機密九九五	幣原外務大臣宛	綿糸統一税に対する在華紡績連合会会議録送付について	882
昭和四年(一九二九年) 九月						
三	285	昭和4年9月2日	幣原外務大臣 トロヤノフスキーソ連大使	会談	ソ連側が中東鉄道紛争解決に対する日本の態度に謝意表明について	367
五	473	昭和4年9月2日	一〇四四	幣原外務大臣宛(電報)	上海における排日団体は表面影を没した様子になるが不平等条約排除促進会を組織し自発的に排日貨運動を展開する構えについて	618
六	680	昭和4年9月2日	機密九九九	幣原外務大臣宛	綿糸統一税に関する船津在華紡績連合会総務より武居同会長宛報告について	887
六	703	昭和4年9月3日	四五五	幣原外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	工整会糾察隊の横行に關し中央政府より省政即時解散せしめる様訓令	926
五	483	昭和4年9月3日	一〇〇八	幣原外務大臣宛(電報)	順天時報社が一般反日運動の終息に伴い市内請売人に対する販売を開始したところ報夫言書が飽迄同紙の排斥運動を継続する旨の宣言書発表について	631
六	681	昭和4年9月4日	一〇五〇	幣原外務大臣宛(電報)	綿糸統一税に関する宋財政部長と船津総務との会談について	888
六	682	昭和4年9月4日	一〇五一	幣原外務大臣宛(電報)	在華紡績側では内外人の差別と釐金等の不当課税の全免を条件に中国側提案を受け入れの傾向について	889
六	683	昭和4年9月(4)日	一〇五二	幣原外務大臣宛(電報)	綿糸統一税を担保に編遣公債発行との申新紡績・榮宗敬の談話について	890

二	205	昭和4年8月30日	機密公 五七八	在吉林川越總領事より 幣原外務大臣宛	109
六	678	昭和4年8月30日	一〇三一	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	一〇〇一
六	677	昭和4年8月30日	一〇二九	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	九七五
三	281	昭和4年8月30日	四二八	幣原外務大臣宛(電報)	九七五
三	280	昭和4年8月29日	一一六	在独国長岡大使より 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
六	645	昭和4年8月29日	二七七	幣原外務大臣宛(電報)	二七五
二	204	昭和4年8月28日	五二九	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
三	279	昭和4年8月28日		在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
六	676	昭和4年8月27日	一〇一七	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
三	278	昭和4年8月26日		在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	二七五
六	644	昭和4年8月25日	九七五	在中國堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	九七五
一	109	昭和4年8月24日	一〇〇一	在上海重光總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	一〇〇一

二	206	昭和4年9月4日	機密 一〇四三	在問島岡田総領事より	張学良の利権回収を目的とした在満日本人調査訓令について	242
六	684	昭和4年9月5日	商機密 二二二二	幣原外務大臣宛	中国側による綿糸統一税導入の政策的意図について	891
六	685	昭和4年9月6日	六〇八	在漢口桑島総領事より	釐金廃止は困難なため民族紡保護の上から内	897
六	704	昭和4年9月7日	二七一	幣原外務大臣宛(電報)	青島在華紡側態度強硬かつ職工側の疲弊もあり	927
六	705	昭和4年9月7日	九三四	幣原外務大臣宛(電報)	王外交部長に青島罷業の現状に注意喚起を要する	929
二	207	昭和4年9月9日	普通七二五	付記 九月六日付在上海重光総領事より 青島在華紡スト問題に関する重光総領事覚書	重光総領事覚書	930
二	208	昭和4年9月10日	機密公 二七八	在ハルビン八木総領事より	第十一回滿州商工會議所連合会決議事項について	243
五	474	昭和4年9月10日	九三九	幣原外務大臣宛	国民政府による在朝鮮人教育の中国化政策について	254
六	646	昭和4年9月11日	一〇三一	幣原外務大臣宛(電報)	全国廃約促進会が租界回収、国貨奨励、朝鮮人の東三省移民禁止等を決議について	619
三	286	昭和4年9月11日	一二八	幣原外務大臣宛(電報)	外交団會議において中国側より原料および既成品の輸出に二分五厘の輸出付加税課税に關し討議について	818
六	686	昭和4年9月11日	機密 一〇三九	幣原外務大臣宛	中東鐵道交渉ノ連修正案への中国側回答内容について	368
二	209	昭和4年9月12日	機密高収 二六四六三ノ二	幣原外務大臣宛	遼寧商工總會の国貨奨励運動について	256
六	687	昭和4年9月13日	四六九	幣原外務大臣宛	綿糸統一税により在華紡績工場生産綿糸は輸出税免除されるか真相調査方訓令	905

六	647	昭和4年9月13日	一〇九三	幣原外務大臣宛(電報)	国民政府は財源難より関税率引上との情報について	819
六	648	昭和4年9月13日	九五	幣原外務大臣宛(電報)	王外交部長より公文にて佐分利公使任命に對し日中国交の増進のため歓迎するとの回答越しについて	819
六	649	昭和4年9月13日	機密合 九九三	幣原外務大臣宛	治外法権問題その他に關する張繼との會談について	820
二	210	昭和4年9月13日	機密 三一三	吉田外務次官より	有田亜細亞局長 一日支關係改善ニ就イテノ或種ノ考察ヲ評ス	827
六	688	昭和4年9月14日	一〇九六	幣原外務大臣宛(電報)	在滿日本人警察官および憲兵の中国人に対する態度改善方要請	258
二	211	昭和4年9月14日	機密高収 二六七九ノ二	中谷関東庁警務局長心得より	綿糸の海外輸出は輸出税單一税とも免除に關して	906
三	287	昭和4年9月16日	一〇八	幣原外務大臣宛(電報)	中国側官憲による日本人關係土地商租状況調査方電命について	259
六	689	昭和4年9月17日	一〇八	幣原外務大臣宛(電報)	幣原外相がソ連側修正案に對する中国側拒否の対応振り	369
三	288	昭和4年9月18日	四七五	幣原外務大臣宛(電報)	綿糸統一税施行の場合の内外日本紡績業への影響について	906
三	289	昭和4年9月18日	機密七五六	幣原外務大臣宛	カラハンが正副管理局長の任命問題に對するソ連の対応振り言明について	370
六	690	昭和4年9月19日	機密 一〇八四	幣原外務大臣宛	張学良ハルビン学生軍の組織禁止について	371

二 219	昭和4年10月11日	一五一	幣原外務大臣より 在南京上村領事宛(電報)	最近における順天時報の直接配達、下請販 売、郵送状況について 安東、新義州間密輸取締りに関して中国税関 援助の必要について 別電 九月二十一日着在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第五七七号 安東、新義州間の密輸の取締り強化は日本の対滿經濟發展の上から必要と の意見具申	633
六 711	昭和4年10月11日	一〇五一	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	外交部長が佐分利公使の来任により速に条 約改訂交渉の運びとなることを希望すると述 べたことについて	832
六 710	昭和4年10月11日	一〇五〇	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	国民政府による黒龍江省における国民党党務 工作人員の逮捕禁令について	260
二 218	昭和4年10月8日	大発八四六	大連商工会議所より 外務大臣官房宛	法院改革に際しては租界の治安維持に影響を 及ぼさないことを主眼に關係国および中国側 に対処方訓令	834
六 653	昭和4年10月8日	機密 一一七一	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛	中国官憲による付属地外在留邦人の調査につ いて	261
六 709	昭和4年10月8日	一〇三九	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	首都協約促進会が鉄嶺事件に関連して排日排 貨を決議について	619
六 708	昭和4年10月8日	一〇一六	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	トラウトマン東方局長日独共同の中東鉄道紛 争調停打診について	372
六 652	昭和4年10月4日	一〇二五	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	ソ連の中東鉄道正副管理局長任命問題の解決 策について	373
二 217	昭和4年10月3日	三七	在吉林川越総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	工整会活動は終息状態に入りつつも事故頻発 在華紡織では自警団の組織を考慮中について	931
六 707	昭和4年9月30日	二九三	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	閣東長官が張學良に対し東三省の独立を使喚 した旨の周龍光談話について	262
二 216	昭和4年9月30日	六〇三	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	閣東長官東三省独立使喚に関する周龍光談話 の信憑性について	262
二 215	昭和4年9月30日	六〇〇	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)		262
六 706	昭和4年9月28日	二九二	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)		931
三 291	昭和4年9月28日	二九二	幣原外務大臣 トローヤノフスキー連大使		373
三 290	昭和4年9月27日	一三七	在独国外務大臣宛(電報)		372
五 475	昭和4年9月27日	九九六	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)		261
二 213	昭和4年9月25日	五八四	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)		261
六 651	昭和4年9月25日	三〇六	幣原外務大臣より 在中国堀内臨時代理公使宛		834
二 212	昭和4年9月24日	本機密 二五七	在チチハル清水領事より 幣原外務大臣宛		260
六 650	昭和4年9月22日	一一三四	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)		832
一 110	昭和4年9月21日	五七六	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)		106
五 484	昭和4年9月20日	一〇七六	在中國堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)		633

六	六	一	一	六		六	六	六	一	三	六		六	二	六	一	二	二	六	一		一	六	六		六	六	
223	660	117	116	659		714	713	658	115	292	657		656	222	655	114	221	220	654	113		112	111		691	712		
昭和 4年 10月 29日	昭和 4年 10月 29日	昭和 4年 10月 28日	昭和 4年 10月 28日	昭和 4年 10月 28日		昭和 4年 10月 26日	昭和 4年 10月 25日	昭和 4年 10月 25日	昭和 4年 10月 24日	昭和 4年 10月 24日	昭和 4年 10月 22日		昭和 4年 10月 21日	昭和 4年 10月 20日	昭和 4年 10月 20日	昭和 4年 10月 19日	昭和 4年 10月 19日	昭和 4年 10月 19日	昭和 4年 10月 18日	昭和 4年 10月 16日		昭和 4年 10月 16日	昭和 4年 10月 14日		昭和 4年 10月 12日	昭和 4年 10月 11日		
機密公 六九九	三二八	六五七	六五五	一一七七		三一七	三一六	一二三六	六四九		一二二八		一一二一	二九六〇四ノ二	一一一九	一一〇八	一一二五	一〇七九	一一四九	六三九		六三七	六三〇		四八六	三〇三		
幣原外務大臣宛 在吉林石射総領事より	幣原外務大臣宛 在中国堀内臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在中國佐分利公使より		幣原外務大臣宛(電報) 在青島藤田総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在青島藤田総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 汪中国公使 会談	幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より		幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 吉田外務次官他宛	幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在閩島岡田総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在南京上村領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在中國堀内臨時代理公使より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在奉天林総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在上海重光総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在青島藤田総領事より	幣原外務大臣宛(電報) 在青島藤田総領事より		
別電	別電	別電	別電	別電		別電	別電	別電	別電	別電	別電		別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電	別電		
十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号		十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月二十六日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三二八号		十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号	十月十六日発在奉天林総領事より幣原外務大臣宛第三二八号		
佐分利公使より関税自主権回復にあたって互恵税率の協定と債務整理を必要とする旨宋子文財政部長と会談について	幣原外相が正副管理局長任命問題を譲歩し紛争の早期解決を勧告について	安東、新義州間密輸取締りに関して関東庁の関係官憲との協議要請に対する対応につき請訓	法院回収に関する専門委員会案につき列国協調によつて我が方深入りし将来の行動束縛せぬよう配慮方意見具申	税関収入取扱銀行を中国銀行・横浜正金銀行より中央銀行へ変更について		市政府への支出金額、職工解雇をめぐって呉思豫市長代理と意見対立について	幣原外務大臣宛第三二八号	幣原外務大臣宛第三二八号	幣原外務大臣宛第三二八号	幣原外務大臣宛第三二八号	幣原外務大臣宛第三二八号		中国側に密輸入取締りの強化を要請するとともに日本側においても至急の対策が必要との意見具申	法院回収に関する専門委員会案に対する我が方修正意見回示方請訓	東三省独立勸告情報に關し出所調査方中国側に要請について	閩東長官東三省独立勸告情報の出所について	吉林全省言論機關連合会の吉会鉄道敷設反対を唱える「東北外患警告文」配布に關する彈春分館報告	日中通商条約改訂交渉準備のため佐分利公使王外交部長と諸問題に關し懇談について	閩内政局への対応に關する張學良、袁金鎧、談国桓の三者会談について	相互理解によつて懸案交渉に臨むことで王外交部長と一致との佐分利公使報告	中国側に密輸入取締りの強化を要請するとともに日本側においても至急の対策が必要との意見具申	法院回収に関する専門委員会案に対する我が方修正意見回示方請訓	東三省独立勸告情報に關し出所調査方中国側に要請について	閩東長官東三省独立勸告情報の出所について	吉林全省言論機關連合会の吉会鉄道敷設反対を唱える「東北外患警告文」配布に關する彈春分館報告	日中通商条約改訂交渉準備のため佐分利公使王外交部長と諸問題に關し懇談について	閩内政局への対応に關する張學良、袁金鎧、談国桓の三者会談について	相互理解によつて懸案交渉に臨むことで王外交部長と一致との佐分利公使報告
275	850	113	112	849	941	939	938	848	112	374	846	845	844	274	837	110	273	273	836	110	109	107	913	911	937			

一	127	昭和4年11月13日	六〇	在安東字佐美領事宛(電報)	税関に對して協力要請について	122
一	126	昭和4年11月13日	四三	幣原外務大臣より 在安東字佐美領事宛(電報)	安東、新義州間の密輸取締りに關して新義州	121
六	663	昭和4年11月13日	一一二三	幣原外務大臣宛(電報)	見および情報交換について	854
二	230	昭和4年11月9日	機密公 七三二	在吉林石射總領事より 幣原外務大臣宛	吉林省交渉員の許可がない土地家屋の貸与売却を禁止する旨の国民政府訓令について	283
三	293	昭和4年11月9日	外八五	太田閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側内地税関の関税補徴問題は国民政府中央との交渉問題とすべきとの意見具申	120
一	125	昭和4年11月8日	三三九	在青島藤田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	青島在華紡側は一般工人の生活深刻化による反工整會氣運を捉え自然復工による解決を画策並びこれに對し市政府側は解決案を提示についで	941
六	715	昭和4年11月8日	三三九	在青島藤田總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	国民外交協會の国貨奨励日貨排斥に關する決議について	282
二	229	昭和4年11月7日	三〇八 三六三 三七二	在チチハル清水領事より 幣原外務大臣宛 中谷閣東庁警務局長心得より 吉田外務次官他宛	中国側官憲の在留邦人状況調査に關し追報	281
二	228	昭和4年11月7日	本機密 三〇八	在奉天林總領事より 有田亞細亞局長宛(書翰)	新法規制定による安東、新義州間密輸の取締り策は密輸の責任が日本側にあるとの印象を与える為採らざる旨の報告	280
二	227	昭和4年11月6日	六七四	在奉天林總領事より 幣原外務大臣宛(電報)	關東長官東三省獨立勸告虚報の出所に關する報告	119
一	124	昭和4年11月6日	五七	在安東字佐美領事より 幣原外務大臣宛(電報)	密輸取締りに關して新法規法令の設定は手續き上困難との報告	118
一	123	昭和4年11月6日	五七	在安東字佐美領事より 幣原外務大臣宛(電報)	瀋陽における排日貨の状況について	278
二	226	昭和4年11月5日	三二六 三二九 三二二	吉田外務次官他宛 中谷閣東庁警務局長心得より 吉田外務次官宛	北陵鉄道支線遮断事件につき満州青年連盟による榊原支援の陳情請願書について	117
一	122	昭和4年11月5日	三二六 三二九 三二二	中谷閣東庁警務局長心得より 吉田外務次官他宛	藩陽における排日貨の状況について	278

一	118	昭和4年10月30日	一六〇	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	安東、新義州間密輸の徹底的取締り認可について	114
二	224	昭和4年10月30日		有田亜細亞局長より 在中國堀内公使館参事官 在上海重光総領事 在南京上村領事 宛	東三省独立勸告虚報の出所に關し在奉天林総領事に調査方要請	276
六	661	昭和4年10月30日	一一八七	在中國佐分利公使より 幣原外務大臣宛(電報)	上海臨時法院回收に關する外交団第三次回答は單に交渉開始同意にとどめ交渉委員構成を日英米仏蘭とする旨の非公式合會の決定について	851
二	225	昭和4年10月31日	本機密 三〇〇	別電 十月三十一日着在中國佐分利公使より幣原外務大臣宛第一一八八号 右外交団第三次回答案 在チチハル清水領事より 幣原外務大臣宛	中国側官憲の在留邦人状況調査に關する堀内代理公使宛報告について	277
一	119	昭和4年11月1日	一二六三	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	宋子文に面會の際に中国側内地税局の関税補徴問題と安東、新義州間密輸問題を切り離して處理する要ある旨の申し入れについて	115
六	662	昭和4年11月1日	一二六七	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	佐分利公使が在留官民の歓迎會席上で行なつた演説の一部が曲解されていることに關して王外交部長に演説の趣旨を説明し不都合な点を指摘したことについて	853
				付記 十一月二十八日付佐分利貞男より南京首都國民院除不平等条約促進會宛書翰 日本は市場として中国を重要視するも何等同國民を蔑視することなき旨諒解ありたいことについて		854
一	120	昭和4年11月2日	外八二	太田閣東長官より 幣原外務大臣宛(電報)	安東、新義州間密輸の取締りに關しては当面現狀規則内で對處する旨の關東庁における會議結果について	115
一	121	昭和4年11月4日	六六	幣原外務大臣より 太田閣東長官宛(電報)	密輸取締り規則制定困難なる理由につき問合せ	117

三	294	昭和4年11月13日	一、二九三	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	王外交部長がドイツの斡旋による中ソ紛争解決交渉の経緯、問題点を説明について	376
六	716	昭和4年11月15日	三五二	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	馬福祥新市長の就任を機に工場開工問題交渉解決の見込みについて	943
六	664	昭和4年11月17日	一三二一	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	法権回復は明年一月一日に目標を置きそれに全力を尽す旨王外交部長言明について	858
六	665	昭和4年11月17日	一三二二	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中央政治会議において日中通商条約改訂が三箇月以内に成立せねば臨時弁法を適用方王外	861
一	128	昭和4年11月17日	機密 七四五	在吉林石射総領事より 幣原外務大臣宛	吉林、珠河間の鉄道敷設予定地の測量開始について	122
六	666	昭和4年11月18日	五二九	幣原外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	改訂交渉問題に関する中国側態度は通商条約共同交渉時の我々が参加につき王外交部長説得方訓令	862
一	129	昭和4年11月19日	四五	幣原外務大臣より 在安東宇佐美領事宛(電報)	安東、新義州密輸問題に関する関東庁側との会談の結果について	123
二	231	昭和4年11月19日	一七三	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	方に關し訓令	285
六	667	昭和4年11月19日	一一六二	幣原外務大臣より 在南京上村領事宛(電報)	法院回収交渉への我が方参加に關する王外交部長への説得不成功の旨重光総領事報告	864
五	485	昭和4年11月19日	一二六一	幣原外務大臣より 在中國堀内臨時代理公使より	北平特別市党務指導委員會宣伝部が順天時報社に対し中央党部の命令として日報登記弁法による登記方通告について	634
一	130	昭和4年11月19日	機密 一〇六七	幣原外務大臣より 在中國堀内臨時代理公使より	容東、新義州間密輸に關する国民政府外交部照会に対する回答について	124
六	668	昭和4年11月20日	一三三四	幣原外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	日中通商条約の効力問題および法院回収交渉への我が方参加などに關する王外交部長との会談につき報告	864
二	232	昭和4年11月20日	六九六	幣原外務大臣より 在奉天林総領事宛(電報)	中東鉄道紛争による奉天票増発と現大洋票の流通状況について	286

三	295	昭和4年11月20日	六九七	在奉天林総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	邢士廉の對ソ直接交渉による解決希望および条件など談話について	379
六	669	昭和4年11月22日	合六九一	幣原外務大臣より 在ニュー・ヨーク首藤商務書記官宛(電報)	金解禁による財界への影響は余り大きくないとの予想について	867
六	717	昭和4年11月22日	三五八	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	馬新市長との交渉の結果十一月二十六日各工場開工により問題解決について	943
六	718	昭和4年11月22日	三五九	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	大日本紡績への工整会側の直接行動に対し市長に嚴重警告市長は保安隊を増派について	944
一	131	昭和4年11月22日	六一	在安東宇佐美領事より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原、太田會議の結果にそった密輸入取締り方針を在地居留民に説示について	125
六	719	昭和4年11月23日	三六〇	在青島藤田総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	青島紡績工場操業再開に關する取極めに調印について	945
六	670	昭和4年11月24日	三四二	幣原外務大臣より 在中國堀内臨時代理公使宛(電報)	幣原外務大臣宛第三六一号	946
六	671	昭和4年11月24日	一三五二	幣原外務大臣より 幣原外務大臣宛(電報)	青島紡績工場操業再開に關する取極め内容	947
三	296	昭和4年11月25日	四四九	在米田出淵大使より 幣原外務大臣宛(電報)	十一月二十三日発在青島藤田総領事より幣原外務大臣宛第三六二号	948

今後の日中通商条約交渉等への影響もあり法院回収交渉参加問題については日中間で交渉する旨関係国代表へ通知方訓令
 法権撤廃、内水航行権、租界回収等の中国側方針につき対抗策を講じ特に満洲確保のため警戒と用意が必要について
 スチムソン國務長官が中ソ関係の悪化に鑑み不戦条約に基づく措置を米国単独にて行おう旨意志声明について

一	132	昭和4年11月25日	亜二機密 松田拓務大臣宛	安東、新義州間の密輸取締りに関して関東庁の協力を重ねて要請について	125
一	133	昭和4年11月25日	機密 在間島岡田総領事より 幣原外務大臣宛	ハルビン特別区第一中学校学生会の吉会鉄道敷設反対を唱える檄文配布につき頭道溝分館報告	126
三	297	昭和4年11月26日	四五〇 在米出国大使宛(電報) 幣原外務大臣宛	スチムソン國務長官が不戦条約に基づく中ソ両国への警告に列国の同調方希望について	382
一	134	昭和4年11月26日	亜二機密 在奉天林総領事宛(電報) 幣原外務大臣より	別電 十一月二十六日発在米出国大使宛 スチムソン國務長官の各国駐在米国外務大臣宛第四五一号	383
三	298	昭和4年11月26日	機密 在満洲里田中領事より 幣原外務大臣宛	北陵鉄道支線遮断事件のその後の経緯につき報告方訓令	127
三	299	昭和4年11月27日	汪中国公使 会談	満洲里のソ連軍占領状況、中国の動向、邦人の保護等について	383
三	300	昭和4年11月27日	幣原外務大臣 会談	幣原外相中国の中東鉄道紛争の国際聯盟への提訴に疑義表明について	388
三	301	昭和4年11月28日	幣原外務大臣 会談	幣原外相が米国の中ソ両国への公式警告は回避すべき旨意見表示について	390
三	302	昭和4年11月29日	在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	張学良が中国側の敗北を自認について	391
一	135	昭和4年11月29日	関機高収 中谷関東庁警務局長心得より 吉田外務次官他宛	中ソ紛争に関する米国提議への英国の反応について	392
三	303	昭和4年11月29日	一六九 幣原外務大臣宛(電報)	不戦条約に基づく米国の中ソ両国への警告提案に關する独国の対応について	392
三	304	昭和4年11月30日	幣原外務大臣 会談	関東庁指導下での安東警察署による安東、新義州間密輸の取締り開始について	128
三	305	昭和4年11月30日	七二七 在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛(電報)	幣原外相が中東鉄道紛争の国際聯盟への提訴および米国提議に付不同意の旨表明について	393

七	754	昭和4年11月30日	一三〇三 在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	佐分利公使死去に対し関税会議における同公使裏面の努力を多としその計を痛惜する中国紙社説について	987
三	306	昭和4年11月30日	四五三 在英国松平大使より 幣原外務大臣宛(電報)	英国が不戦条約に基づく中ソ両国への米國警告案に同意について	395
五	486	昭和4年11月30日	一三〇五 在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	北平市政府の順天紙排斥命令発出の事実取調べについて	634

昭和四年(一九二九)十二月

三	307	昭和4年12月(1)日	四五七 在米出国大使より 幣原外務大臣宛(電報)	スチムソン米國務長官不戦条約に基づく中ソ両国への警告実施の意向表明について	395
六	672	昭和4年12月1日	日商發 藤田日本商工会議所会頭より 幣原外務大臣宛	産業貿易助長促進に関する建議について	870
六	692	昭和4年12月(2)日	一三八三 在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	船津が綿糸統一税を承認しているため外務省が同課税を黙認しているとの当業者間の誤解について	914

付記

十月八日付尾玉一造より船津辰一郎宛書簡
青島在華紡スライキよりみて綿糸統一税承認の方が有利と考えられるに
いて

三	308	昭和4年12月2日	四六一 在米出国大使より 幣原外務大臣宛(電報)	スチムソン國務長官が米国の措置は不戦条約の權威のためであり満洲に容喙する意向なき旨表明について	397
三	309	昭和4年12月4日	五八七 在ソ連田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	ソ連側は英米などの声明を友好的措置と認めずと回答について	397
三	310	昭和4年12月4日	一一〇五 在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国側米・英・仏の不戦条約に基づく通告に対し同意表明について	399
三	311	昭和4年12月4日	五八八 在ソ連田中大使より 幣原外務大臣宛(電報)	カラハン奉天側と和議進行中における米國等列国の声明は不可解との見解表明について	400

付記一

十二月三日付
ソ連、奉天政府間中東鉄道問題紛争調整に関する議定書

七	766	昭和4年12月24日	五六四	幣原外務大臣より 在上海重光総領事宛(電報)	小幡アグレマン問題につき一面胡漢民、戴天 仇に連絡すると同時に蔣介石にも我が方の意 旨に達する訓令	1004
六	674	昭和4年12月24日	機密送 八七六	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛	内河航行権回収等に関する王外交部長演説要 旨について	875
七	767	昭和4年12月26日	一四五	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	元旦の蔣主席レセプション出席の機会を利用 し小幡公使問題による日中関係行詰り打開を 試みたいことについて	1005
二	236	昭和4年12月27日	機密公 一〇八三	在奉天森島総領事代理より 幣原外務大臣宛	満洲取引所整理問題に関しては解散の方向で 対処すべき意見具申	298
一	142	昭和4年12月28日	関機外 三四四	太田関東長官より 幣原外務大臣宛	関東州における密輸取締りは効果ありとの報 告	138
七	768	昭和4年12月30日	一四六四	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	小幡公使アグレマン拒否による日中関係行詰 り打開のため張群と会談について	1005
七	769	昭和4年12月30日	一四六五	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	小幡公使アグレマン拒否による日中関係行詰 り打開のため黄郛と会談について	1007
六	675	昭和4年12月30日	一四八九	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	中国国定税率問題等に関する宋財政部長との 会談について	877
七	770	昭和4年12月31日	一三〇八	在南京上村領事より 幣原外務大臣宛(電報)	小幡公使アグレマン拒否等に関し中国新聞記 者の質問に対する蔣主席の応答について	1009
七	771	昭和4年12月31日	一四六六	在上海重光総領事より 幣原外務大臣宛(電報)	張・黄両氏の談話をみるも中国側にも小幡公使 アグレマン拒絶を翻させること困難について	1009
七	772	昭和4年12月31日	公二	在中国重光臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	重光臨時代理公使が蔣主席レセプションに出 席のため南京行について	1010

付記一 昭和五年一月十五日発在中国重光臨時代理公使より幣原外務大臣宛電報公
第二号
蔣主席より黄郛に小幡公使問題は暫く空気の転換を俟ちたいと回答および
黄が日本側の重光代理公使任命は機宜の策であると述べたことについて

1011 1011 1010 1009 1009 877 1007 1005 138 298 1005 875 1004

五	487	昭和4年12月31日	一三八二	在中国堀内臨時代理公使より 幣原外務大臣宛(電報)	北平市政府と同市党部会による順天紙販売 妨止方手配の情報について	635
			付記一	外務省作成(稿)		636
			二	順天時報庄迫事件経過大要		638
				昭和五年三月二十九日着在上海重光総領事より幣原外務大臣宛電報二三五 号 順天時報が廃刊となった旨の時事新報掲載記事について		638
			三	昭和五年末外務省亜細亞局第一課議会議書原稿 「公使館昇格問題」		1012
			四	昭和五年一月十一日発在上海重光総領事より幣原外務大臣宛電報第四五号 中国側の佐分利公使の死因に関する観測について		1014
			五	昭和五年一月十一日発在上海重光総領事より幣原外務大臣宛電報第四七号 佐分利公使が死の直前に王正廷宛に送ったとする手紙の内容について		1014